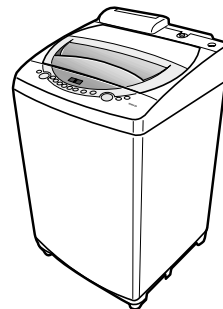
TOSHIBA

東芝ヒーター乾燥付全自動電気洗濯機（家庭用）

取扱説明書

据付説明書別添付

形名 AW-D802VP
AW-D702VP

- このたびは東芝ヒーター乾燥付全自動電気洗濯機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

いざという時に
2kgちょっと乾燥

2kg乾燥機能で、乾ききらなかった衣類の仕上げ乾燥などに便利です。

乾燥シワを抑える
そのまま乾燥コース

洗濯槽全体をゆっくり回転させながら温風を吹きかけて乾燥させます。
衣類をかきまぜないので、シワや布傷みを抑えます。

濃縮パワー洗浄

濃縮洗剤液による濃縮パワー洗浄により、衣類の芯から汚れをひきだします。

ヒーター乾燥付全自動洗濯機とは

ヒーター乾燥付全自動電気洗濯機は洗濯と乾燥を別々に運転します。
洗濯が終了したら衣類を取り出し、よくほぐしてから乾燥運転を行ってください。脱水シワはよくのばしてから乾燥すると比較的シワが少なく上手に乾燥することができます。
乾燥はタイマー乾燥のため乾きぐあいに関係なく設定した時間通りに終了します。
洗濯物の量や湿りぐあいに応じて乾燥時間を設定してください。

乾燥のしくみ

ファンで送られた空気をヒーターであたため、温風*1にします。温風で衣類をあたため、湿り気を蒸発させ乾燥します。そのとき衣類全体を乾燥させるために洗濯脱水槽を回転させたり、パルセーターを回転させます。

＊1 室温20℃のとき温風の温度は60℃。温風の温度は据え付け場所や外気温により異なる場合があります。

図中の矢印は風の流れを表しています。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。
つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定される内容」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定される内容」を示します。

＊1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意

△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理しない

火災、感電、けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

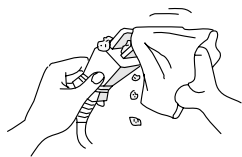
分解禁止

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを洗濯機単独で使う

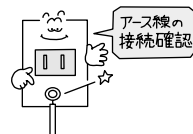
電圧や定格が異なると火災、感電の原因となります。また、他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントは専用で

電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはよくふきとる

ほこりが付着すると火災の原因になります。

ほこりをとる

アース線が取り付けられているか確認する

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アース線の取り付けは、電気工事店または販売店に相談してください。

アース線の接続を確認する

電源コードを傷めない

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、金属部にかけたり重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
コードが破損し、火災･感電の原因となります。

傷つけ禁止

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。

プラグを抜く

電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。

禁　止

傷んだコードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

使用禁止

⚠警告

浴室や風雨にさらされる場所には設置しない

感電や漏電による火災の原因となります。

水場での使用禁止

プラスチック部には火気を近づけない

火災の原因になります。

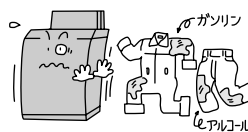
火気厳禁

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油などが付着した衣類や、ウレタンフォーム製の洗濯物は乾燥しない

油の酸化熱による自然発火や引火の原因になります。

禁止

引火物は洗濯・脱水槽に入れない

ガソリン・灯油・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物は入れないでください。
爆発や火災の原因になります。

引火物禁止

子供など取り扱いに不慣れなかたには使わせない

やけど・けがをすることがあります。

禁止

排水不良でないことを確認する

排水不良で洗濯機が水に浸かる状態で使用すると、漏電による火災や感電の恐れがあります。

排水確認

洗濯・脱水槽が完全に止まるまで中の洗濯物などに手を触れない

ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをすることがあります。特にお子様には気をつけてください。

接触禁止

幼児に槽をのぞかせない

洗濯機の近くに台などを置かないでください。洗濯・脱水槽の中に落ちて、けがをしたり、おぼれることがあります。

禁止

本体各部に直接水をかけない

感電・ショートすることがあります。

水かけ禁止

入浴中はふろ水給水はしない

万一の感電を防ぐためです。

給水禁止

⚠注意

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火する恐れがあります。

引っ張り禁止

長期間ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

洗濯機の上にのぼったり、重い物を載せたりしない

変形・破損によりけがをする恐れがあります。

上乗り禁止

乾燥中および乾燥終了直後は乾燥ユニット上部および洗濯・脱水槽内部をさわらない

高温になっており、やけどをするおそれがあります。

接触禁止

••→（つづく）

⚠注意

煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、電源プラグを抜く

直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

プラグを抜く

温水を使用する場合50℃以上のお湯は使用しない

プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の恐れがあります。

熱湯使用禁止

内ふたを閉める際に、衣類をはさまない

衣類が損傷したり故障の原因になります。また、プラスチック部品が破損し、けがの恐れがあります。内ふたはカチッと音がするまで確実に閉めてください。

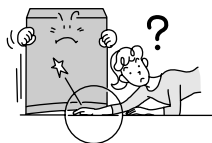
衣類をはさまない

洗濯の前に蛇口を開いて、給水ホースの接続部分の緩みや水もれのないことを確認する

ねじやホース接続などの緩みがあると水もれして思わぬ被害を招くことがあります。

水もれ確認

運転中の洗濯機の下に手を入れない

回転部があり、けがをする恐れがあります。

手など入れない

マット類は乾燥しない

マットの樹脂が洗濯・脱水槽に付着したり、他の衣類を汚すことがあります。素材によっては化学変化による自己発熱で自然発火の原因になります。

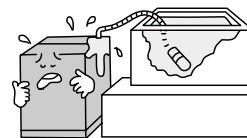
乾燥禁止

洗濯機底面から手を押し込まない

けがをする恐れがあります。
脚キャップの取り付けなどは、側面底部をさけ、指定の方法で行ってください。

押し込まない

ふろ水用給水ホースを浴槽の水位面が洗濯機より高い位置で使用しない

サイホン現象によりポンプ運転が終わっても水が出続け、床を濡らして、思わぬ被害を招くことがあります。

使用禁止

防水性のシート、マット、衣類（※）、水を通しにくい繊維製品は洗濯や脱水、乾燥をしない

洗濯物が飛び出したり脱水中に異常振動し、けがをしたり、洗濯機、壁、床などの破損、衣類の損傷などの恐れがあります。

※サウナスーツ、雨ガッパ、釣具用上着・ズボン、スキーウェア、寝袋、オムツカバー、ウェットスーツ、自転車・バイク・自動車カバーなど。

洗濯禁止

ふろ水用給水ホースを浴槽に入れたまま、ふろ水用給水継手を外さない

サイホン現象によりホースから水が出続け、床を濡らして思わぬ被害を招くことがあります。
浴槽からふろ水用給水ホースを先に出し、水が出終わった後にふろ水用給水継手を外してください。ホースの残水は、よく抜いてください。

使用禁止

給水中に蛇腹ホースをつぶさない

給水中に蛇腹ホースをつぶすと、水が柔軟仕上剤投入ケースに逆流し、水もれして思わぬ被害を招くことがあります。

つぶさない

各部のなまえ

本体

乾燥ユニット
吸気フィルター

内ふた
乾燥フィルター

糸くず取りネット
フィルター上　フィルター下
P49

ふた

柔軟仕上剤投入ケース P43 P49

給水口 P48 P53

ふろ水給水口 P30

安全上の注意ラベル

水準器 P54

操作パネル P8

洗濯・脱水槽

パルセーター
(回転板)

形名表示

調節脚
(前脚1脚) P54

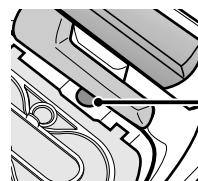
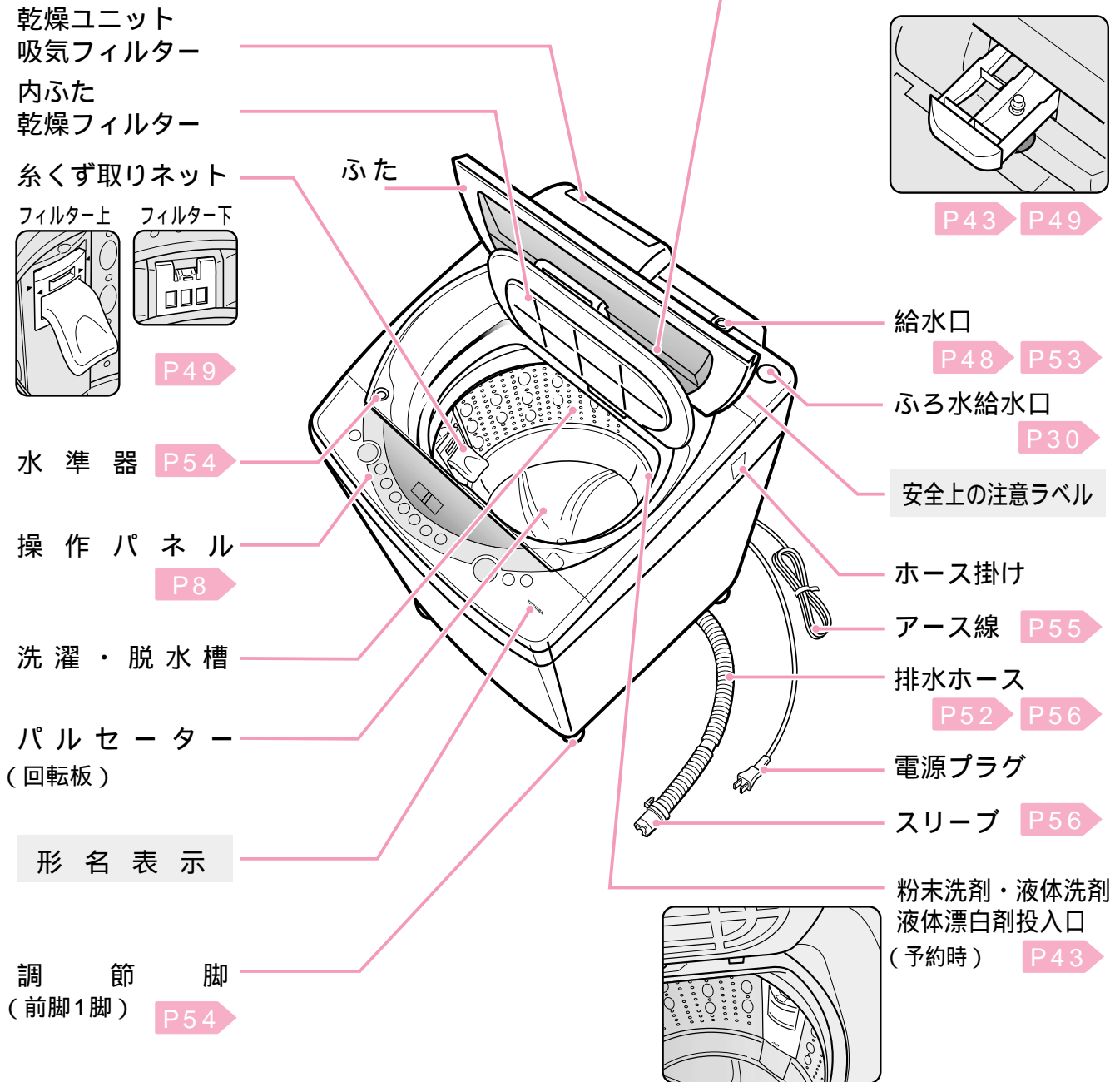
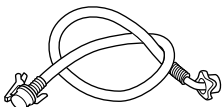
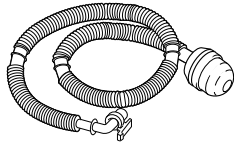
ホース掛け

アース線 P55

排水ホース P52 P56

電源プラグ

スリーブ P56

粉末洗剤・液体洗剤
液体漂白剤投入口
(予約時) P43

付属品

付属品を新たに購入したい場合は、お買い上げの販売店
または、東芝家電ご相談センターにご相談ください。 P64

給水ホース(0.8m)・ホース継手　1個	ふろ水用給水ホース フィルター付(4m)　1個	脚キャップ　各2個
部品コード番号 42040673	部品コード番号 42040648	部品コード番号 42006207
		6mm用　3mm用
P53	P30	P55

操作パネルのみかた

この操作パネルはAW-D802VPです。
AW-D702VPは水量・残り時間は違いますが、使用方法は同じです。

表示部

●現在運転中の行程を点滅で、残りの行程を点灯で表示します。
（例）洗い運転のとき

洗い　注水　すすぎ　脱水

●電源を入れ、コースを選んだとき

洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を表示します。

乾燥

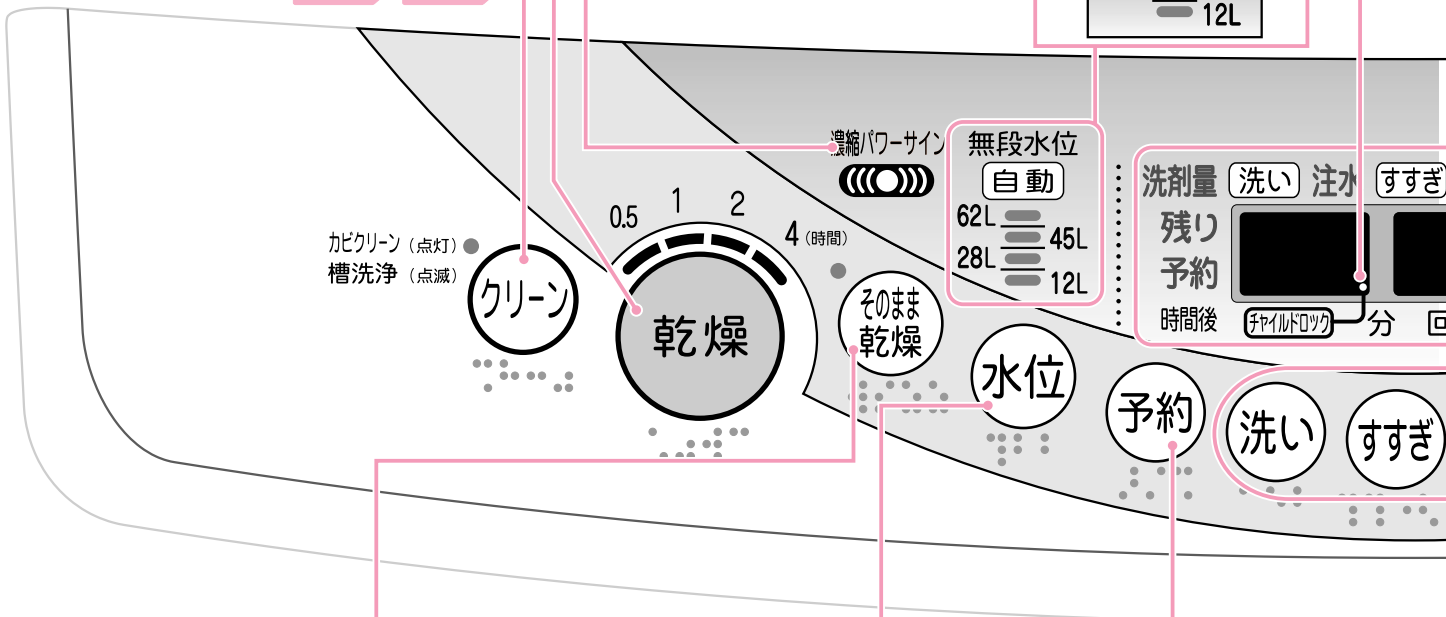
●選んだ時間だけ運転するタイマー乾燥です。
ボタンを押すと選んだ時間まで表示が点灯します。
●運転中の時間はランプが点滅し、残り時間に応じてランプが消灯します。
P36

クリーン

●クリーンを1回押すとカビクリーン(点灯)、2回押すと槽洗浄(点滅)になります。
P50　P51

濃縮パワーサイン

●濃縮パワー洗浄を行うときは、ランプが点灯し、濃縮パワー洗浄が始まると点滅します。P16

AW-D702VPの場合は水量が異なります。

そのまま乾燥

●パルセーターは回らずに、洗濯・脱水槽がゆっくり回って乾燥を行います。P38
乾燥時間は乾燥を押して選んでください。

水位

●洗い給水中は「自動」または設定された「水位」表示が点滅し、給水が終了すると設定された水位が点灯します。

自動設定のとき

●運転前に洗濯・脱水槽に水が入っていると1番上の水位になります。
●洗濯物の量に合わせて水位を無段階に設定します。
表示は設定された水位に最も近い水位が点灯します。

水位を押して設定するとき

●水位を押すとお好みの水位に設定することができます。
表示は水位が高くなる方向に移動します。P47

予約

●洗濯終了までの時間を予約できます。P21
●乾燥運転の予約はできません。

●スタート後ふたを開けているとき
洗剤量（目安）を表示します。

洗剤量 1.2
1.2杯を表わしています

●粉末合成洗剤に同梱されているスプーンでの洗剤量を表示します。
●「ドライ」コースの洗剤量は中性洗剤のキャップでの投入量を表示します。

スプーン1杯で水55Lの使用量
キャップ2杯で水30Lの使用量

P42

※洗剤の種類によりスプーン（キャップ）1杯の洗剤量が変わります。お使いの洗剤に合わせて洗剤量を加減してください。

●スタート後ふたを閉めたとき
洗濯や乾燥終了までの残り時間目安を表示します。

●予約したとき
洗濯終了時間を表示します。

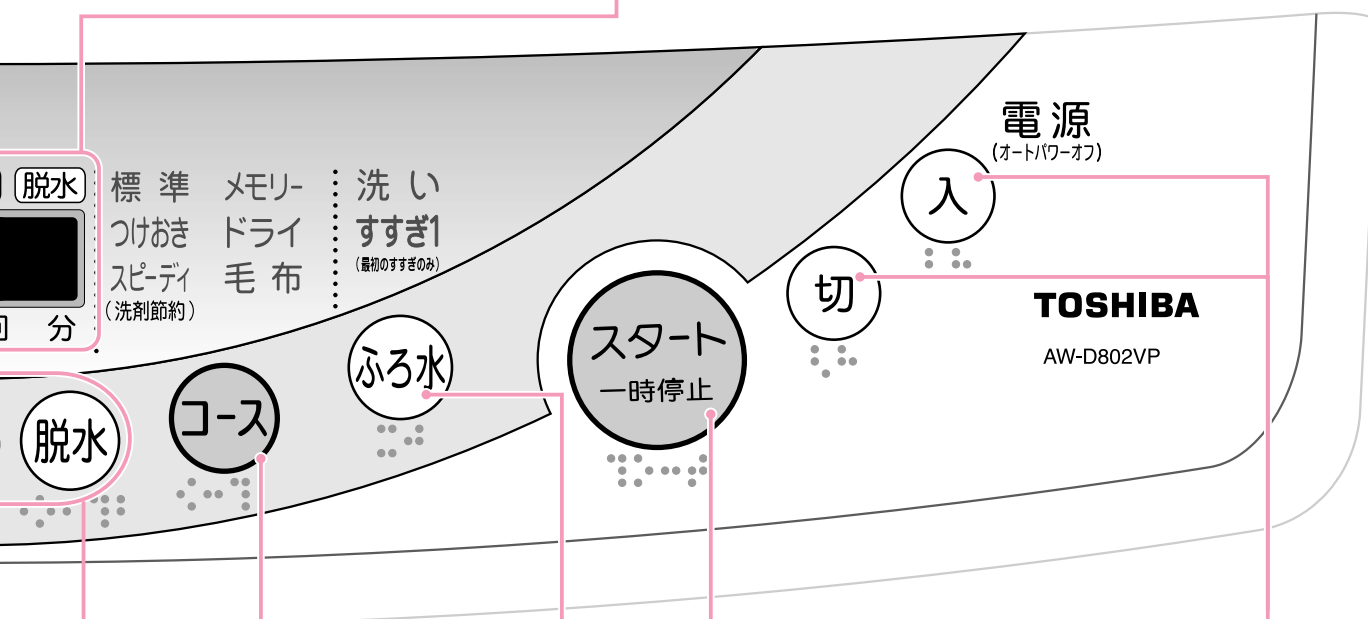
P21

●運転中に不具合が生じたとき
エラー表示をします。

P62

チャイルドロック表示

● 設定すると「●」が点灯します。

P32

コース

●洗濯物に応じてコースを選択してください。ボタンを押すごとにランプ表示が移動します。

洗い・すすぎ・脱水

●洗い時間・すすぎ回数・脱水時間が設定できます。

P22

スタート/一時停止

●運転を始めるときに押します。
●途中で運転を止めるときに押します。

ふろ水

●ふろ水給水ポンプでふろの残り湯を使用するときに押します。
●ふろ水ポンプ利用行程を表示します。ふろ水給水中の行程を点滅で、残りの行程を点灯で表示します。

P30

電源

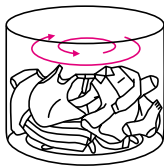
●電源の「入」、「切」をします。
●電源は運転が終了してから約15秒後、または電源を入れて運転しない場合約10分後に自動的に切れます。
●ソフトキープ運転中はふたを開ければ、自動的に電源が切れます。

P37

ヒーター乾燥付全自動電気洗濯機の動き

ヒーター乾燥付全自動電気洗濯機は以下のような動きで洗濯しています。
ここでは濃縮パワー洗浄「標準」コースの動きを例にとって説明しています。

洗濯物を入れスタートするとセンサーが洗濯物の量をはかり、給水を始めます。

1 **スタート後、水のない状態で約6秒間パルセーターが動き洗濯量をはかります**

2 **給水が始まります。洗剤量表示（目安）を目安に、洗剤を洗濯・脱水槽の周りに入れ、柔軟仕上剤を投入ケースに入れふたを閉めます**

洗剤量表示 P9

洗濯用剤量の目安 P42

3 **給水が終了し、水位ランプが点灯します**

●化繊・混紡の生地やシーツなどの衣類は水位が低めになることがあります。低いときは水位ボタンで水位を調節してください。

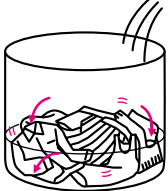
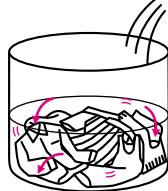
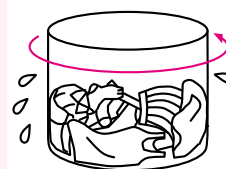
洗い

濃縮パワー洗浄 P16

給水後
かくはん

給水後
かくはん

給水後
かくはん

低い水位からかくはんを始め、水を追加しながら洗います。
給水回数は、洗濯物の量、すすぎ回数などにより異なります。

1､2回目のすすぎ

この行程を２回くり返します。

シャワーすすぎ

排水して脱水

槽をゆっくり回転させながら給水

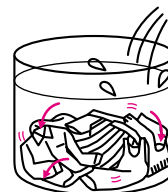
洗濯時間が長いみたい。途中で表示が変わった？

残り時間の表示について

表示は水道水の給水量が毎分15Lの場合の目安です。
次の場合は残り時間の表示よりも洗濯時間が長くなったり途中で表示が変わります。

●水道水の給水量が毎分15Lよりも少ない。
●排水が悪い。
●洗濯物が片寄った。

注水すすぎとは

かくはん中も、給水しながらすすぎます。

給水量が少ないときは水があふれない場合があります。

⚠警告

洗濯・脱水槽が完全に止まるまで中の洗濯物などに手を触れない

ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをすることがあります。特にお子様には気をつけてください。

接触禁止

お願い

脱水中、ふたを開けて15秒以内に洗濯・脱水槽が止まらないときは、すぐに使用を中止する

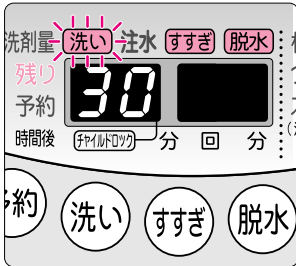
●修理の依頼をしてください。

●けがの原因になります。

脱水中、乾燥中にふたを開けると、安全のため洗濯・脱水槽が止まるまでブザーが鳴り続けます。

＊脱水中電源を切ると、次回「スタート」時に、洗濯・脱水槽とパルセーター（回転板）が少しの間動作しますが、異常ではありません。

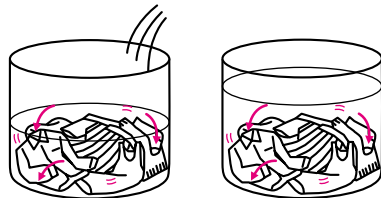
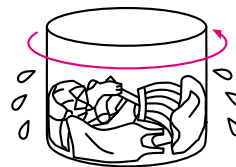
■洗い運転中に運転内容を変更することができます

1 スタート/一時停止 を押す

2 変更したいボタン 洗い すすぎ 脱水 を押す

●「洗いなし」「すすぎなし」「脱水なし」の設定はできません。

3 スタート/一時停止 を押す

●変更できる内容は自分流の設定と同じです。 P22

すすぎ		脱水
	3回目のすすぎ	
	ためすすぎ	
排水して脱水	設定水位まで給水　かくはん	排水して脱水

仕上剤投入ケースから柔軟仕上剤が投入されます。

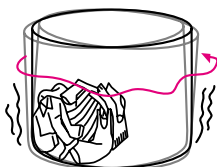
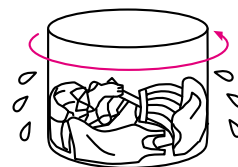
乾燥

電源を入れ直し、乾燥を設定してください。洗濯から乾燥まで自動運転ではありません。

設定のしかたや動作について P33

脱水中に給水…？

洗濯物の片寄りについて

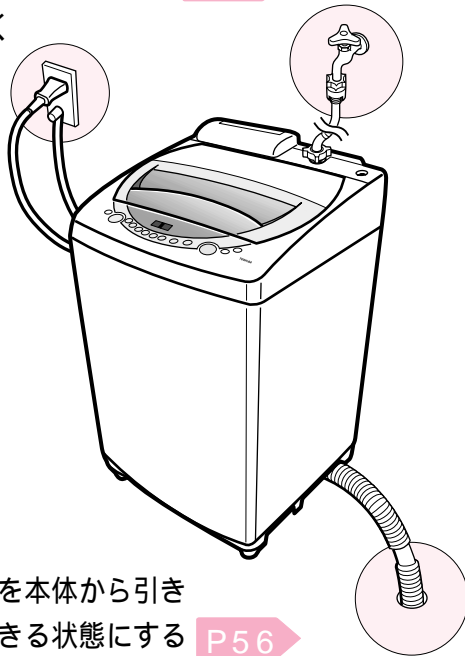
脱水中に洗濯物が片寄ると次のような行程が追加され、残り時間が増えます。

片寄りを検知すると脱水が止まる　→　給水して片寄りを修正　→　再び排水して脱水

洗濯の前に

⚠警告

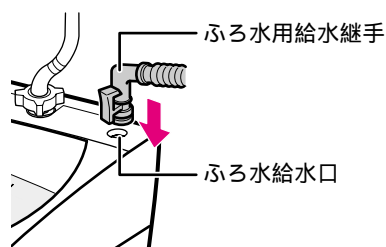
引火物は洗濯・脱水槽に入れない

灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物は入れないでください。爆発や火災の原因になります。

洗濯機の準備

1 **給水ホースを取り付け、水栓を開く** P53

2 **排水ホースを本体から引き出し排水できる状態にする** P56

3 **アースと電源プラグを取り付ける** P55

4 **ふろ水用給水継手を本体側のふろ水給水口に確実に差し込む**

＊ふろ水を利用するときは「ふろの残り湯を使う洗濯」をごらんください。P30

お願い

糸くず取りネットは必ず取り付けて運転してください。

糸くず取りネットを取り付けずに運転すると水はねがひどくなったり、取り付け部に衣類が引っかかり衣類を傷める場合があります。

洗濯量について

■**洗濯量は**

JISで規定された布を洗濯したときの洗濯量です。洗濯物の種類・大きさ・厚さなどにより洗える量が変わります。洗濯物の動きが悪い場合は洗濯物の入れすぎです。

■**洗濯量の目安** （　）内はAW-D702VPの場合

衣類のおよその洗濯量を覚えて、入れすぎないようにしてください。
洗濯物によって洗濯できる量が異なります。

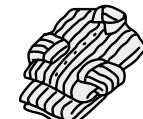
●普通の洗濯物は8kg（7kg）以下
●シーツは10枚・約5kg（9枚・約4.5kg）以下
●レースのカーテンは約4.6kg（約4.0kg）以下
●バスタオルは16枚・約4.8kg（14枚・約4.2kg）以下

ブリーフ（約50g）

アンダーシャツ（約130g）

Yシャツ（約200g）

シーツ（約500g）

くつした（約50g）

パジャマ上下（約500g）

ブラウス（約200g）

バスタオル（約300g）

＊（　）内は1枚の質量の目安です。

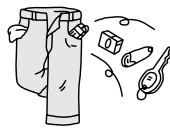
⚠ 注意

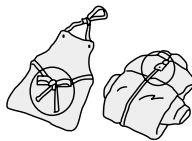
防水性のシート、マット、衣類（※）、水を通しにくい繊維製品は洗濯や脱水、乾燥をしない

洗濯物が飛び出したり脱水中に異常振動し、けがをしたり、洗濯機、壁、床などの破損、衣類の損傷などの恐れがあります。
※サウナスーツ、雨ガッパ、釣具用上着・ズボン、スキーウェア、寝袋、オムツカバー、ウェットスーツ、自転車・バイク・自動車カバーなど。

洗濯禁止

洗濯物の準備

●ポケットの中に何も入っていないことを確認する

●ドロや砂の付いた衣類は、ブラシなどでよく落とす

●ひもは結んで、ファスナーは閉める
マジックテープは止める
＊衣類やファスナーの傷みを防ぐためです。マジックテープは止めておかないと糸くず取りネットや衣類にくっつき傷める原因になります。

●飾りや付属品のある衣類、コーデュロイなど起毛素材の衣類は裏返す
＊衣類の傷みや毛玉、糸くずを防ぐためです。

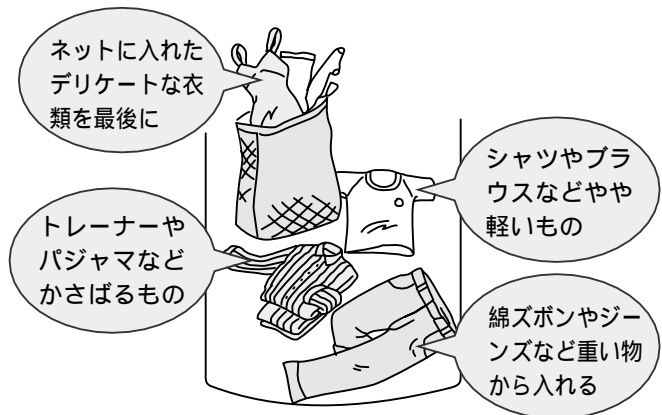
●デリケートな衣類（レースのついた衣類,ブラジャー,ストッキング,タイツなど）は洗濯ネットに入れる

●糸くずが気になるものは、タオル,バスタオルとは分けて洗う
または市販の糸くず防止ネットに入れて洗う

●色物と白物は分けて洗う
＊他の衣類への色移りを防ぐためです。

●汚れのひどい所や、シミは部分洗い用洗剤をぬっておく

洗濯物の入れかた

■**大物や水に浮きやすい物から先に入れる**

水に浮きやすい衣類の例

●ジャンパーなど表地や裏地が化繊１００％の衣類
●フリースなど化繊１００％あるいは混紡衣類
（化繊とはポリエステル,アクリル,ナイロンなどのことです。）

洗濯機で洗える表示であっても、枕･座布団・クッションなど給水後に上から押さえても洗剤液がしみこまないものは洗濯できません。脱水時に洗濯物が飛び出すことがあり、異常の原因となります。

■**洗濯物はできるだけ均一に入れ、よく押し込む**

■**学生服など型くずれの気になる衣類や、空手着などかさばる物は単独で洗う**

■**洗濯中に衣類を追加するときは**

必ず「一時停止」を押し、運転が止まってから衣類を入れてください。このとき洗濯物を上から押さえて十分洗剤液を含ませてください。

洗濯物にあったコースの選びかた

洗濯物の種類

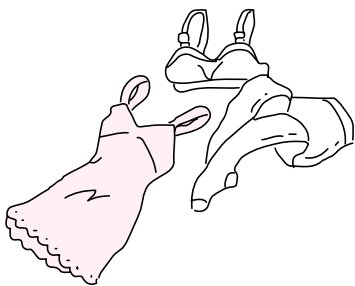
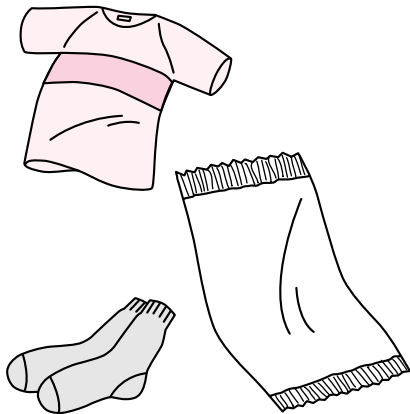
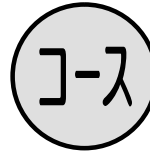
40 の表示がある

バスタオル,タオル,ハンカチ,
パジャマ,下着,Tシャツ
ワイシャツ,作業服,体操着
靴下など

コース

P16

普段のお洗濯 → 標準コース

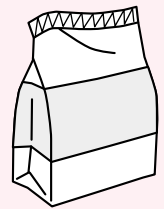
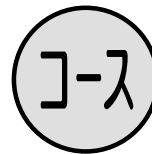
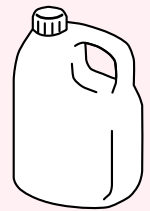
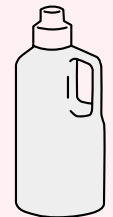
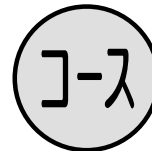
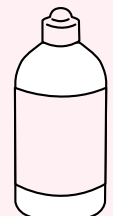
黄ばみを防ぎたい
汚れの多いもの → つけおきコース

軽い汚れのもの
短時間で洗いたい → スピーディ（洗剤節約）コース

使用できる洗剤類

洗濯用剤量の目安 P42

粉末合成洗剤

粉石けん
P44

液体洗剤

柔軟仕上剤

漂白剤

■主な取扱い絵表示と意味

40 — 40°C以下で洗濯機で洗濯できる

弱 30 — 30°C以下で洗濯機の弱水流で洗濯できる

40°C以下で洗濯機で洗濯できる
洗濯ネットを使用のこと

30°C以下で弱い手洗いがよい
中性洗剤を使用のこと

30°C以下で弱い手洗いがよい

衣類には取扱い絵表示がついています。
取扱い絵表示に従って衣類に合った洗濯コースで洗濯してください。

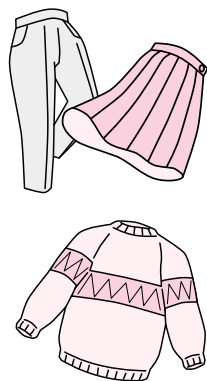
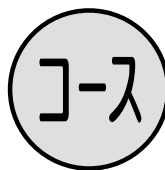
洗濯物の種類

コース P24

使用できる洗剤類
洗濯用剤量の目安 P42

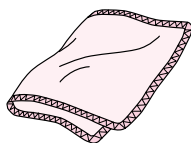
や

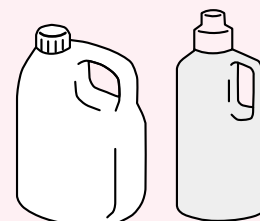
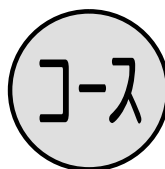
の表示がある

学生服,スラックス
スカート,ブラウス,
ランジェリー,
セーター,
カーディガン
フリースの衣類など

液体中性洗剤　**柔軟仕上剤**

や

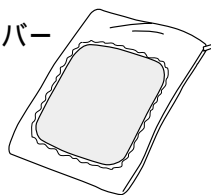
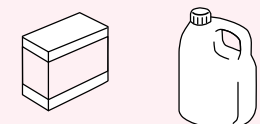
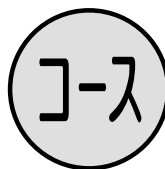
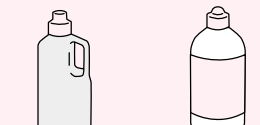
の表示がある

毛布4.2kg以下
夏掛け布団1.8kg以下
カーペットカバー2畳

＊毛布洗いネットが必要です。

毛布

液体洗剤　**柔軟仕上剤**

や

の表示がある

カーテン,シーツ,布団カバー
タオルケットなど大物

毛布

粉末合成洗剤　**液体洗剤**

柔軟仕上剤　**漂白剤**

水洗いはできない

ドライクリーニングができる

塩素系漂白剤による漂白はできない

洗濯機の場合短時間でしぼるのがよい

日陰の平干しがよい

つり干しがよい

おまかせ洗濯

普段の汚れ物を洗いから脱水まで最適に自動運転します。

普段のお洗濯に

標準コース

濃縮パワー洗浄とは

低い水位からかくはんを始め、高濃度の洗剤液を衣類にしみ込ませ、水を追加しながら洗います。高濃度の洗剤液がしみ込むので、洗剤が汚れに効果的にはたらきます。

1 電源を入れる

●「標準」「濃縮パワーサイン」が点灯します。
●(コース)を押すと「濃縮パワーサイン」が消灯します。

▶必要に応じて(ふろ水)(予約)を選ぶ

P30 P21

2 洗濯物を入れる

洗濯量 P12
洗濯物の入れかた P13

3 (スタート 一時停止)を押す

●給水前にパルセーター（回転板）が回転して洗濯量をはかり、洗剤量（目安）を表示します。（ふたが開いているとき）

4 洗剤量表示を目安に洗剤などを入れ、内ふた・ふたを閉める

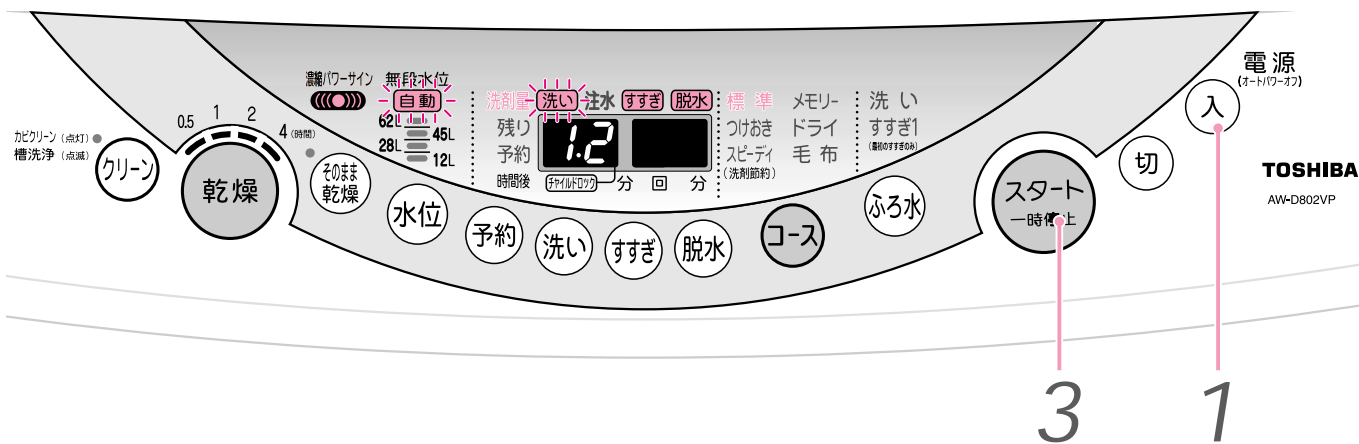
●ふたを開けたまま運転するとすすぎや脱水の前で運転が止まります。

洗濯用剤量の目安 P42
洗剤量の表示 P9
液体洗剤・柔軟仕上剤 P43

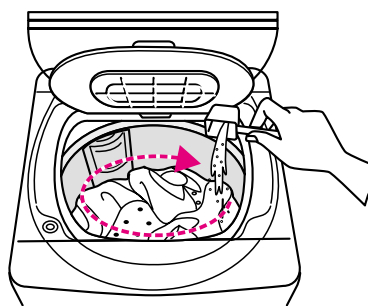
洗濯終了

ブザーで洗濯の終了をお知らせ

●水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

▶タイマー乾燥をするとき P33

■洗剤の入れかた

洗剤量表示に従って、洗濯・脱水槽の周りに入れます。

入れすぎると泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。

お願い

●内ふたはカチッと音がするまで確実に閉め、乾燥フィルターはしっかり取り付けてあることを確認してください。 P50
確実にしまっていなかったり、取り付けられていないと、脱水時に異常音がしたり、フィルターがはずれて破損することがあります。

••➔（つづく）

軽い汚れの衣類を短い時間で洗いたいとき

スピーディコース

軽い汚れの衣類を短い時間で洗います。
スピーディコースは次のような運転を行います。

■洗える量と水位の目安

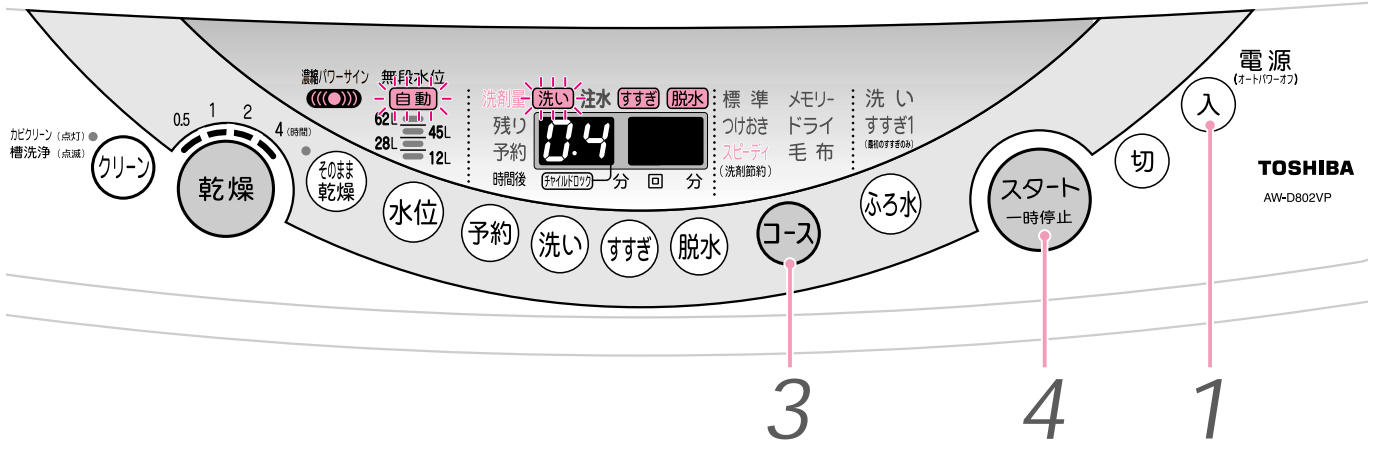
洗える量：4.8kg以下
（AW-D702VPは4.2kg以下）
水位　　：45L以下

洗濯量の目安	洗剤量表示 カップ	手動設定水量	合成洗剤 粉末洗剤 20g／水30L	合成洗剤 液体洗剤 20mL／水30L
5 4	0.4	45L	約13g	約13mL
3 2	0.3	28L	約9g	約9mL
1	0.2		約6g	約6mL
kg	0.1	12L	約4g	約4mL

■洗剤量について

- 洗剤量の表示は、「標準」コースの約半分量が表示されます。
- 洗剤は入れすぎないようにしてください。すすぎが不十分になります。
- 柔軟仕上剤の使用量は設定水位に合わせてください。

洗濯用剤量の目安 P42

- 粉石けんは使用しないでください。粉石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく、黄ばみや石けんのにおいが付く原因になります。

1 電源を入れる

2 洗濯物を入れる

洗濯量 P12
洗濯物の入れかた P13

3 コース を押して「スピーディ」を選ぶ

▶必要に応じて ふろ水 予約 を選ぶ

P30 P21

4 スタート一時停止 を押す

●給水前にパルセーター（回転板）が回転して洗濯量をはかり、洗剤量（目安）を表示します。（ふたが開いているとき）

5 洗剤量表示を目安に洗剤などを入れ、内ふた・ふたを閉める

●ふたを開けたまま運転するとすすぎや脱水の前で運転が止まります。

洗剤量の表示 P9
液体洗剤・柔軟仕上剤 P43

洗濯終了 **ブザーで洗濯の終了をお知らせ**

●水栓を閉じ糸くず取りネットを掃除してください。

▶タイマー乾燥をするとき P33

汚れの多いもの、黄ばみを防ぎたいとき

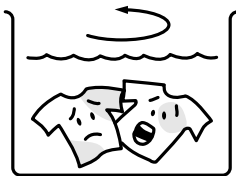
つけおきコース

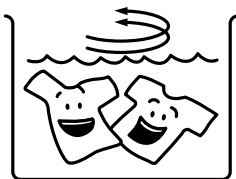
洗える量：5kg以下（AW-D702VPは4.5kg以下）

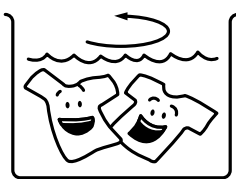
皮脂汚れの付きやすい肌着,Yシャツ、汚れのひどい作業着,体操着,厚手の靴下などの洗濯。
高濃度の洗剤で、つけおき洗いをします。

- ●衣類の黄ばみを防ぐには、月に1度程度使用すると効果的です。
- ●㊝を押すと、つけおき時間30分、1・2・4・6・8時間の設定ができます。お好みに応じて使い分けてください。
- ●洗剤量表示は「標準」コースの2～3倍量が表示されます。
- ●洗い時間が長いので傷みやすい化繊や色落ちしやすい衣類は洗わないでください。

つけおきコースの洗いは次の行程になります。

濃縮パワー予洗い

始めに洗濯物に洗剤液をよくしみ込ませます。

高濃度つけおき洗い

高濃度の洗剤でつけおきとかくはんを繰り返し、皮脂汚れを落とします。

仕上げ洗い

つけおき洗いで落ちやすくなった汚れをさらに落とします。

1 電源を入れる

2 洗濯物を入れる

洗濯量 P12
洗濯物の入れかた P13

3 (コース)を押して、「つけおき」を選ぶ

▶**必要に応じて(ふろ水)(予約)を選ぶ**

P30 P21

4 (スタート/一時停止)を押す

●給水前にパルセーター（回転板）が回転して洗濯量をはかり、洗剤量（目安）を表示します。(ふたが開いているとき)

5 洗剤量表示を目安に洗剤などを入れ、内ふた・ふたを閉める

●ふたを開けたまま運転するとすすぎや脱水の前で運転が止まります。

洗濯用剤量の目安 P42
洗剤量表示 P9　液体洗剤・柔軟仕上剤 P43

洗濯終了

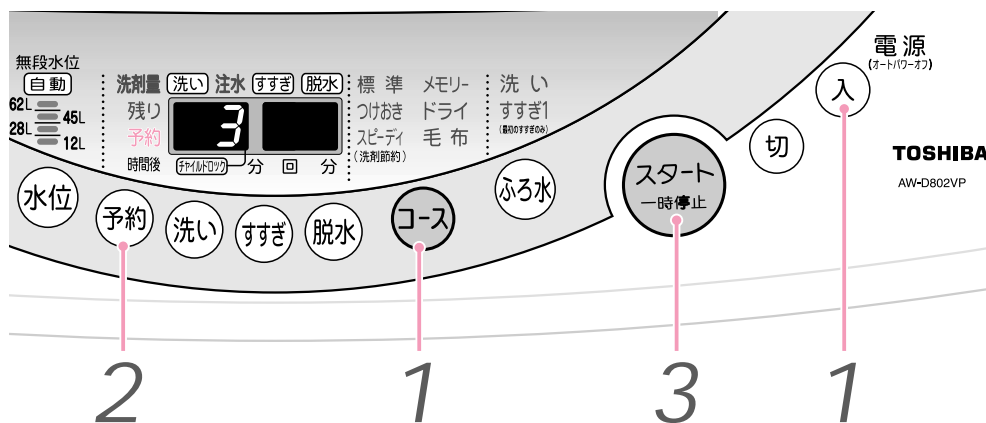
ブザーで洗濯の終了をお知らせ

●水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

▶**タイマー乾燥をするとき** P33

洗濯終了時間の予約

予約ボタンで洗濯終了までの時間が予約できます。

- 「乾燥」「そのまま乾燥」「カビクリーン」コースなど乾燥のコースは予約できません。

■予約内容の確認

(予約)を押す。

押している間、予約内容が表示されます。

＊予約時間と実際の終了時間は、給水量・排水の状態などの条件により多少異なります。

■予約の取り消しと変更

電源を切ります。変更は電源を入れ直し、最初からやり直してください。

■「つけおき」コースのときは

設定された洗い時間により、予約できる時間が変わります。

■柔軟仕上剤を使用するとき

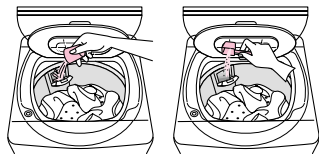
洗剤量の表示を目安に柔軟仕上剤投入ケースに入れてください。 P42

■粉末漂白剤を使用するとき

白いタオルに粉末漂白剤を包み、パルセーターの上にのせてください。

■粉末洗剤・液体洗剤・液体漂白剤を使用するとき

①「粉末洗剤・液体洗剤・液体漂白剤投入口」を開け、こぼさないように洗剤などを入れる。（投入口がぬれている場合は水滴をふきとってください。）

② 確実に閉める。

投入口の位置を変えたいとき P43

- 粉石けん、一般合成洗剤（水30Lに40gのもの）は使用しないでください。溶けにくいため、固まることがあります。
- 粉末洗剤と液体洗剤を使用するときは、粉末洗剤が固まらないように液体洗剤を先に入れてください。

1 電源を入れたら洗濯物を入れコースを選ぶ

- 運転内容を変更することができます。 P22
  「ドライ」「槽洗浄」コースは予約できません。

▶**必要に応じて (ふろ水) を選ぶ** P30

2 (予約) を押して洗濯終了までの時間を選ぶ

- 1～12時間後まで1時間単位で選べます。

3 (スタート/一時停止) を押す

- 水栓が開いているか確認してください。
- 給水前にパルセーターが回転して洗濯量をはかりそれに応じて洗剤量（目安）を約30秒間表示します。その後予約の時間を表示しますが、ふたを開けると洗剤量（目安）を表示します。

4 洗剤量表示を目安に洗剤などを入れ、内ふた・ふたを閉める

- ふたを開けたまま運転するとすすぎや脱水の前で運転が止まります。

洗濯終了

ブザーで洗濯の終了をお知らせ

- 水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

▶**タイマー乾燥をするとき** P33

いろいろな洗濯・乾燥

自分流の洗濯がしたいとき

自分流の洗濯を記憶させる

濃縮パワー洗浄「標準」コースの運転内容を変更して「メモリー」コースに記憶させることができます。

「すすぎだけ」などしたい

各コースで洗い〜脱水、脱水だけなどの設定や洗い時間、すすぎ回数、脱水時間を変更設定できます。

1 電源を入れる

2 コースを選ぶ

●ランプが点灯していれば押す必要はありません。
●「メモリー」コースを使用すると記憶されて、次回から電源を入れると「メモリー」が点灯します。

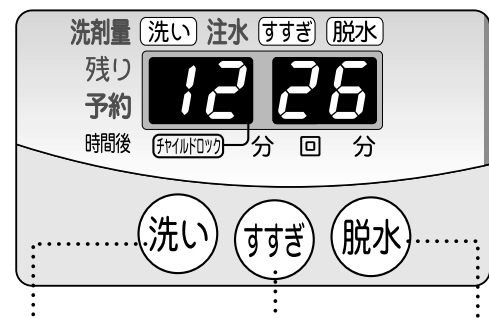
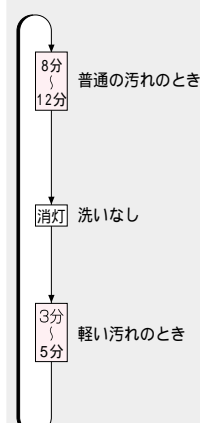
3 洗い すすぎ 脱水 をそれぞれ押し運転内容を変更する

▶必要に応じて ふろ水 予約 を選ぶ P30 P21

コースにより設定できる内容が異なります。

「メモリー」コースの場合 P41

12分まで1分単位で選べます

- 8分〜12分　普通の汚れのとき
- 消灯　洗いなし
- 3分〜5分　軽い汚れのとき

4回まで選べ、注水すすぎ／ためすすぎの選択ができます

- 2回　シャワーすすぎ1回 ためすすぎ1回
- 2回 注水　シャワーすすぎ1回 注水すすぎ1回
- 3回　シャワーすすぎ2回 ためすすぎ1回
- 3回 注水　シャワーすすぎ2回 注水すすぎ1回
- 4回　シャワーすすぎ2回 ためすすぎ2回
- 4回 注水　シャワーすすぎ2回 注水すすぎ2回
- 消灯　すすぎなし
- 1回　ためすすぎ1回
- 1回 注水　注水すすぎ1回

9分まで1分単位で選べます

- 4分〜6分　普通の衣類
- 9分　厚手の物
- 消灯　脱水なし
- 1分〜2分　しわになりやすい物

4 スタート 一時停止 を押す

5 洗剤量表示を目安に洗剤などを入れ、内ふた・ふたを閉める

●ふたを開けたまま運転するとすすぎや脱水の前で運転が止まります。

洗剤量の表示 P9　洗濯用剤量の目安 P42

洗濯終了

ブザーで洗濯の終了をお知らせ

●水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

▶タイマー乾燥をするとき P33

こんなときは	運転内容	選択する洗い・すすぎ・脱水
●洗濯液を2度使用する ●あらかじめ洗剤を溶かす	**洗いのみ** 水は残ります。	洗い ― ○ ― ○
●すすぎ液を再利用する	**洗い～すすぎ** 水は残ります。	洗い ― すすぎ ― ○
●分け洗いする	**洗い・脱水**	洗い ― ○ ― 脱水
●洗ったものをすすぐ	**すすぎのみ** すすぎの効果を上げるために、排水・脱水から始まります。水は残ります。	○ ― すすぎ ― ○
●洗濯液を絞ってすすぎ、脱水する	**すすぎ～脱水** すすぎの効果を上げるために、排水・脱水から始まります。	○ ― すすぎ ― 脱水
●別に洗ったものを脱水する ●ためた水を排水する	**脱水のみ** 脱水の前に排水します。 排水だけのときはふたを開けておき、「E2」表示が出たら、電源を切ります。	○ ― ○ ― 脱水
●洗濯内容を変更して洗濯したい	**洗い～すすぎ～脱水**	洗い ― すすぎ ― 脱水

＊すすぎからの運転で水位を設定しないと水位は62L（AW-D702VPは60L）になります。

■つけおきコースについて

- 「洗いのみ」「洗い・脱水」「脱水のみ」の設定はできません。
- 「すすぎのみ」「すすぎ～脱水」を設定すると1回目のすすぎは排水後の脱水を行わず、給水を開始します。

おうちで本格派洗濯

学生服・セーター・ブラウスなどが、洗いから脱水まで自動的に洗濯できます。

デリケートな衣類を洗いたいとき

＊洗濯の前に「必ず守ってほしいこと」をお読みください。 P26

ドライコース

ブラウス、ランジェリーなどデリケートな衣類を振り洗い水流でやさしく洗うコースです。（ドライクリーニングではありません）

＊洗濯ネットは必要ありませんが、セーターなどを洗うときや布傷みが気になる場合は洗濯ネットに入れてください。

■洗える量と水位の目安 （ ）内はAW-D702VPの場合

●水位は自動的に設定されますが45Lを超える設定にすると、62L（60L）水位まで給水して運転します。

45L：1.5kg以下（1.2kg以下）
28L：ブラウス1枚

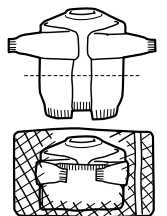
●水位が低いと感じたときは、水位ボタンで調節してください。
●12Lは設定できません。

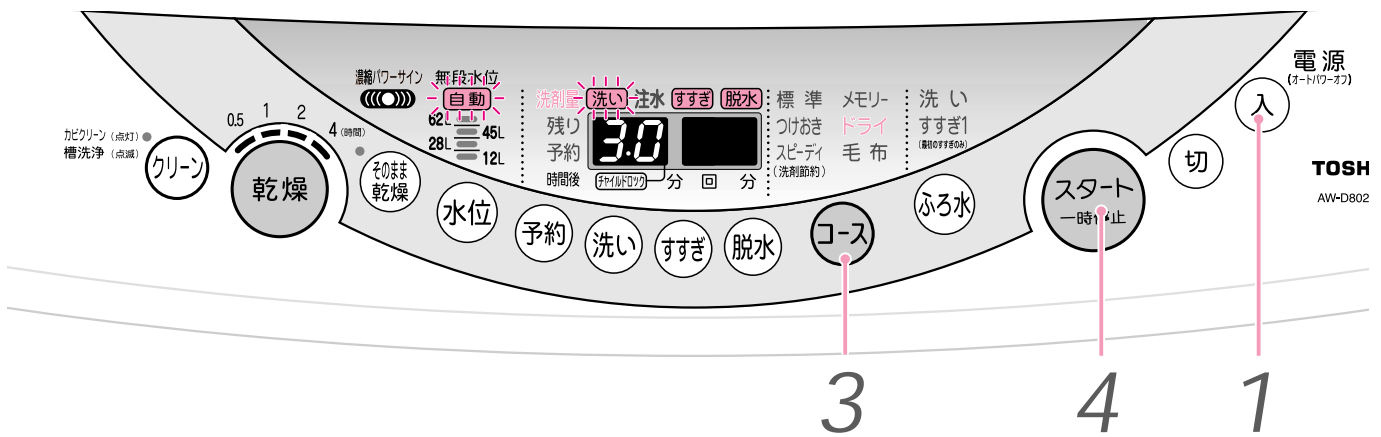
■ 手洗イ 30 のウォッシャブルシルクを洗うポイント

1.風合いよく仕上げるために柔軟仕上剤を使用する。
2.脱水時間は短め（1分程度）に設定する。
3.必ず日陰で干す。

●天日干しにすると黄ばんだり、変色することがあります。
●シワが気になる場合は、半乾き状態で裏から中温のドライアイロンを軽くかけてください。

■洗濯ネットへの入れかた

1.裏返しにして、えり、そでなど、汚れたところが表に出るようにたたみます。
2.1枚ずつ市販の目の粗い洗濯ネット（角型40×50cm）いっぱいになるように入れてください。

お願い

●衣類は洗濯・脱水槽に入る大きさに折りたたみ、平らになるように置いてください。
●衣類の入れかたにより、水位が変わることがあります。
●ネットに入れたセーターは、汚れがよく落ちるように汚れている方を下向きにし、パルセータに対して少し端に寄せて入れてください。
●化繊など素材により水に浮いてしまうものがあります。その場合は給水後に一時停止して、上から軽く押さえて十分洗剤液を含ませてください。

1 電源を入れる

2 洗濯物を入れる

●洗える衣類であるかどうか確認してください。 P26

3 (コース)を押して「ドライ」を選ぶ

4 (スタート 一時停止)を押す

●給水前にパルセーター（回転板）が回転して洗濯量をはかり、洗剤量（目安）を表示します。（ふたが開いているとき）

5 洗剤量表示を目安に洗剤や柔軟仕上剤を入れる

●液体中性洗剤（毛糸・おしゃれ着用、蛍光剤無配合のもの）を使用し、衣類に直接かけないように入れてください。

洗剤量の表示 P9
洗濯用剤量の目安 P42
液体洗剤･柔軟仕上剤 P43

6 内ふた・ふたを閉める

●ふたを開けたまま運転するとすすぎや脱水の前で運転が止まります。

洗濯終了

ブザーで洗濯の終了をお知らせ

●水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。
●衣類はすぐに取り出して形を整え、陰干ししてください。

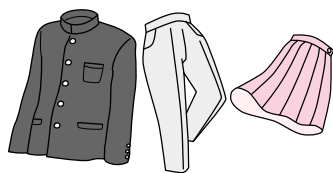
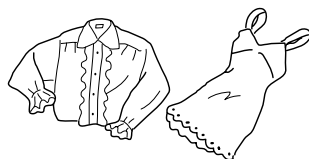
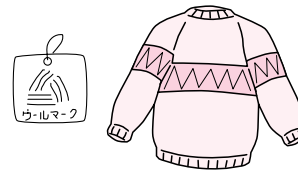
（つづく）

必ず守って欲しいこと

●洗える衣類であるかどうかを確認してください。

洗濯できるもの

や
の表示がある

学生服、スラックス、スカート類
（ウール、麻、ポリエステル等）

ブラウス、シャツ、ランジェリー類
（ポリエステル、麻）

ウール、アンゴラ、カシミヤのセーター、
カーディガン類

洗濯できないもの

取扱い絵表示および、素材表示がない場合は洗えません。
ドライ表示でも洗えないものがあります。

	洗えない理由
●皮革製品、皮革および羽、毛皮など装飾のあるもの（部分的に皮革を使用しているものも不可） ●絹、レーヨン（ポリノジックも含む）、キュプラおよびその混紡品（裏地でも不可） ●スーツ、ジャケット、コート、ネクタイなどの型くずれしやすいもの（芯地を使ったもの） ●コーティング加工、樹脂加工（接着剤を使ったもの）を施したもの ●エンボス加工、シワ加工を施したもの ●ちりめんなどの強撚糸（強くよじった糸）を使ったもの ●ベルベット、別珍など	水につけるだけで型くずれ、縮み、風合いの低下を起こしやすいため洗えません
●色落ちしやすいもの	水で色落ちするので洗えません
●毛布、カーテンなどの大物	重いので洗えません
●スキーウェア、ダウンウェア、などの防水加工品	水に浮いてしまい、洗えません

●ふろの残り湯、お湯は使用しないでください。
●洗剤量と洗剤の使用上の注意事項などは、洗剤の取扱説明書に従ってください。
●液体中性洗剤（毛糸・おしゃれ着洗い用、蛍光剤無配合のもの）を使用してください。

色落ちについて

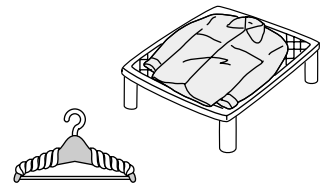
色落ちしそうな衣類は、目立たないところに洗剤をつけて、白いタオルで強く押さえるようにして色落ちを確認してください。色落ちするものは洗わないでください。

しみ抜き、部分洗い

えり、そで等のがんこな汚れは、裏側にタオルを当て、汚れの周りから水でぬらし、液体中性洗剤（毛糸、おしゃれ着用、蛍光剤無配合のもの）を付け、タオルなどでこすらずにやさしく押さえます。部分洗い用洗剤を使う場合は、必ず蛍光剤無配合のものを使ってください。

（●パーマ液など化学変化したシミ、鉄さび・かび・墨汁・インク・口紅・日光などで黄変・変色したものは落ちないことがあります。
●シミは、放置すると落ちにくくなりますので、できるだけ早く処置してください。）

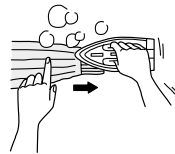
陰干し（乾燥） ●必ず風通しの良い日陰に干します。

手のひらで軽くたたいてシワを伸ばし、形を整えて干します。
学生服などは型くずれを防ぐため、必ずハンガー干しをしてください。
セーターなどは平干ししてください。
- ●脱水が足りないと感じたときは、バスタオルなどで衣類をはさみ、押さえて水気をとってください。
- ●タイマー乾燥したい場合は「そのまま乾燥」で乾燥させてください。 P38
  また、衣類乾燥機で乾かす場合は、おしゃれ着乾燥ができる衣類乾燥機を使用してください。

ハンガーにタオルを巻いて、肩幅に合わせて使ってください。

上手なアイロンのかけかた ●アイロン仕上げは、その取扱説明書に従ってください。

■セーターなどの場合

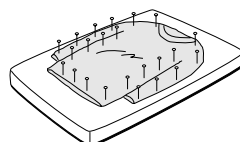
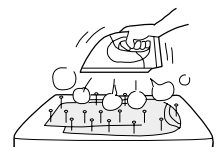
全体仕上げ
アイロンのかけ面が触れる程度で、全体にスチームをかけます。

そで口などの部分仕上げ
タテ方向に引っ張りながら形を整えます。伸びきったゴム編み部分にはたっぷりスチームをかけます。

当て布の使いかた
- ●刺しゅう、ビーズのついたもの、スカートやスラックスには当て布をしてください。

※押さえがけするとセーターの風合いがそこなわれます。

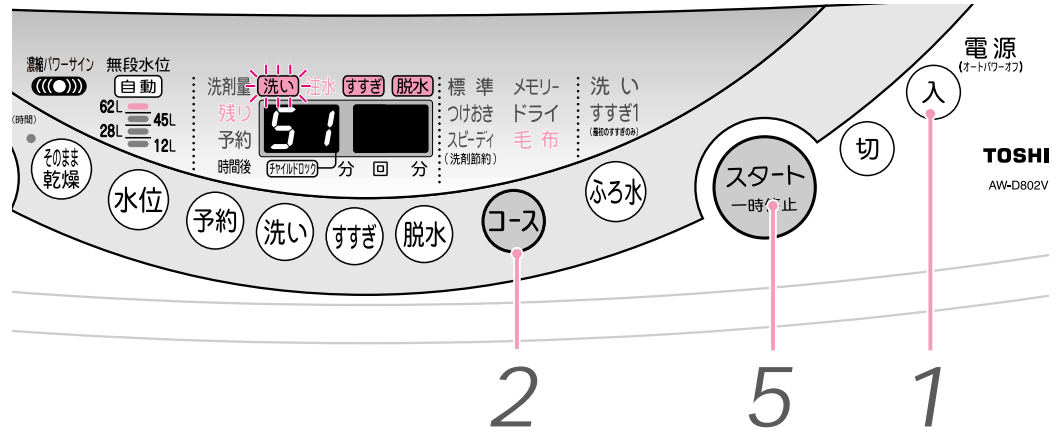
もし、縮んでしまったときは

ウール、麻などは縮みやすい繊維ですが、洗濯で縮んだものは、次の方法である程度伸ばすことができます。衣類を購入したときに型紙を取っておくと便利です。

1 乾燥した衣類を広いアイロン台にのせ、伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打ちます。

2 スチームアイロンを浮かしてスチームをたっぷりかけ、乾くまでそのままの状態にしておきます。

（つづく）

毛布など大物を洗いたいとき

毛布コース

毛布、カーペットカバー、夏掛けふとん、カーテン、シーツなど大物も洗濯できます。

■毛布洗いネットに入れる洗濯物

次の洗濯物は必ず別売の「毛布洗いネット」に入れてください。

毛布、カーペットカバー、夏掛けふとん、水に浮きやすいもの、布傷みが気になるもの

＊毛布洗いネットに入れずに洗濯すると、洗濯物が洗濯・脱水槽から飛び出し、脱水中に異常振動し、洗濯機の破損、衣類の損傷などの恐れがあります。

＊毛布洗いネットはTMN-47をご使用ください。 P57

■水位について

「毛布」コースは62L（AW-D702VPは60L）のみの設定しかできません。

お願い

- 毛布洗いネットに入れたときに、できるだけ高さが低くなるように折って入れてください。
- 毛足の長さ、生地の厚みにより毛布洗いネットに入らないときは洗濯できません。
- 水に浮きやすい洗濯物は、給水後に一時停止し、上から押さえて十分に洗剤液を含ませてください。

1 電源を入れる

2 （コース）を押して「毛布」を選ぶ

▶必要に応じて（ふろ水）（予約）を選ぶ

P30 P21

3 水位表示を目安に液体洗剤や柔軟仕上剤を入れる

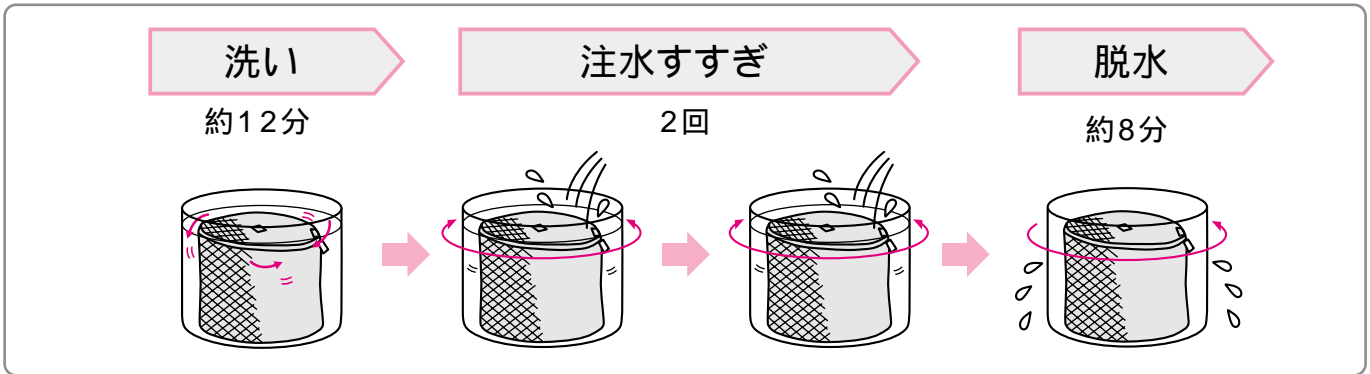
- 洗剤量は表示しません。P42
  液体洗剤・柔軟仕上剤 P43

4 毛布洗いネットに入れた大物を洗濯・脱水槽に入れる

5 内ふた・ふたを閉め（スタート 一時停止）を押す

洗濯終了 ブザーで洗濯の終了をお知らせ

- 水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

毛布コースの行程（洗濯時間：約51分）

■洗える目安

●毛布

表示のあるもの

種類：マイヤー・タフト・織毛布
サイズ：ダブルサイズ以下（180cm×230cm）
質量：4.2kg以下

- ●毛布の洗濯は1回1枚にしてください。
- ●純毛の毛布や一般の電気毛布は洗わないでください。洗える電気毛布はその毛布の取扱説明書に従ってください。

●カーペットカバー

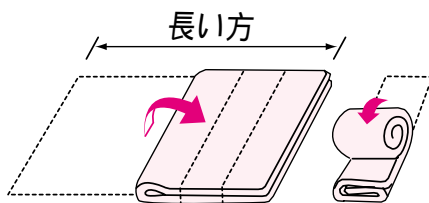
表示がある約2畳までの大きさのもの

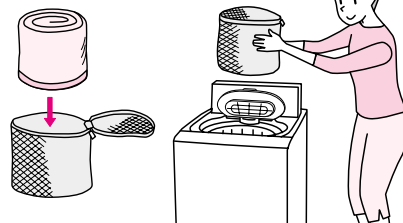
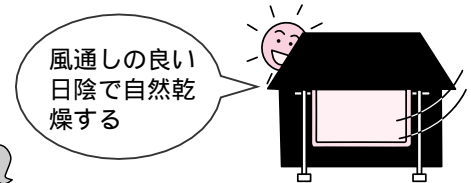
●夏掛けふとん

表示のある中わたがポリエステルのもの

サイズ：140cm×180cm以下
質量：1.8kg以下

- ●夏掛けふとんの折りかたは毛布洗いネットの取扱説明書に従ってください。

■毛布・カーペットカバーの折りかた・毛布洗いネットへの入れかた・洗濯後の取り出しかた

ゴミや糸くずを取り除き、横長に6つに折り、巻きます。

●マイヤー以外の毛布・カーペットカバーはゆるめに巻いてください。

へりのある方を毛布洗いネットの下になるように入れファスナーを閉め、ファスナーが上になるように洗濯・脱水槽に縦にして入れます。

毛布洗いネットのファスナーを開いて洗濯物の中央をひっぱり、洗濯物を先に取り出します。

ふろの残り湯を使う洗濯

ふろ水を利用したときの運転内容

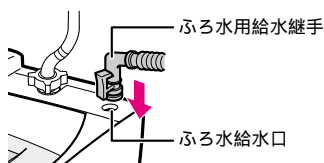
水道水利用　ふろ水利用

	洗濯行程（「標準」コース）							
ふろ水利用なし	洗い	脱水	シャワーすすぎ	脱水	シャワーすすぎ	脱水	ためすすぎ	脱水
洗いのみふろ水利用	洗い	脱水	シャワーすすぎ	脱水	シャワーすすぎ	脱水	ためすすぎ	脱水
すすぎまでふろ水利用	洗い	脱水	ためすすぎ			脱水	ためすすぎ	脱水

●ふろ水を利用したときのすすぎ回数変更は、3回注水までになります。（「つけおきコース」は5回注水まで）
すすぎ回数が1回の場合はふろ水は利用できません。 P41

■ふろ水用給水ホースの取付かた

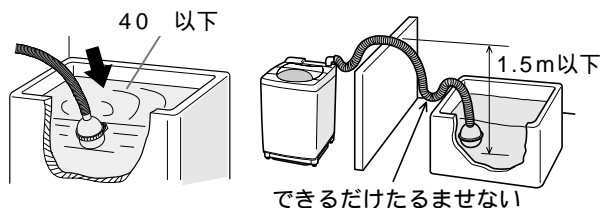
1 ふろ水用給水継手を本体側のふろ水給水口に確実に差し込む

●上に引っ張っても抜けないことを確認してください。

2 ふろ水用給水ホースを伸ばし長さを調節する

●給水中は水の重さによりホースが垂れ下がるため、長めに伸ばしてください。付属のホースで短い場合は別売の「ふろ水用給水ホース（7m）」をご利用ください。 P57

3 水道の蛇口を開ける

4 ふろ水用給水ホースを浴槽に沈める

●ふろ水ポンプの給水口からホースの最高点までの高さを1.5m以下にしてください。

5 洗濯終了後、ふろ水用給水ホースを浴槽から取り出す

6 ふろ水用給水ホースフィルターの掃除をする P48

ふろ水を正しく給水するために

ホースを巻いて使用しないでください
高い壁を超えるときは、ホースをたるませないでください

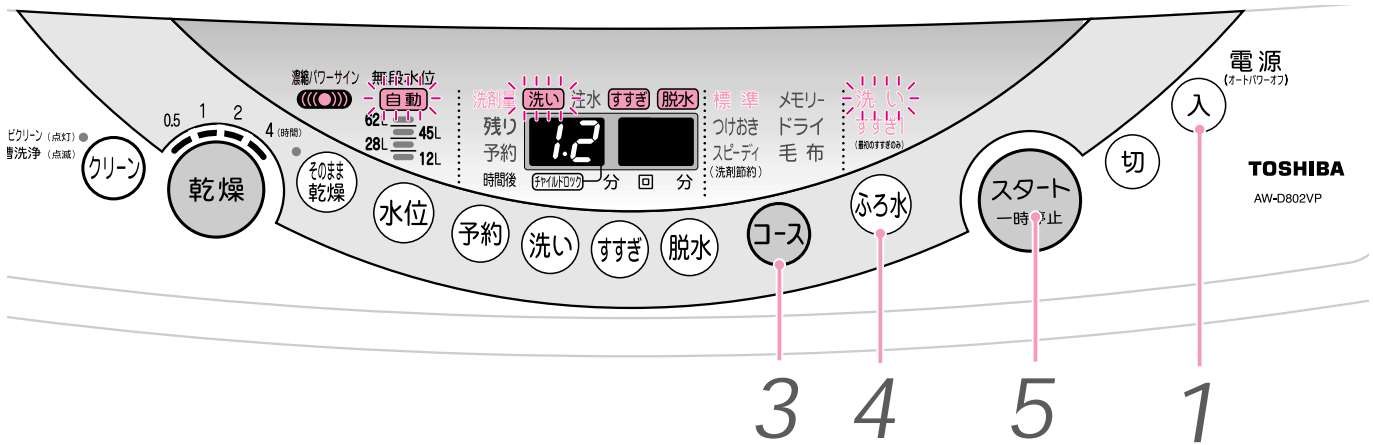
ホースにたるみがあると、ホースの抵抗が増え、給水できない場合があります。

ふろ水用給水ホースを傷めないように注意してください
ホースに穴があくとふろ水を吸い上げることができません

●コンクリート角やとがった金属物（サッシ窓や浴室ドア）でこすらないでください。

●浴室入口のドアではさみ込まないでください。

●ホースを無理に引っ張ったり、ふまないでください。ホースがつぶれることがあります。

※ホースを傷める恐れがある場合には、別売の「保護スリーブ」をご利用ください。 P57

■ふろ水利用について

●ふろ水の水温は40°C以下で使用してください。
●(スタート)を押した後はふろ水利用の内容は変更できません。電源を入れ直し再び設定してください。
●ふろ水給水の前にふろ水ポンプへの呼び水と水道栓の開け忘れを確認するために水道水を約15秒～45秒給水します。12Lの水位ではポンプが動作する前に設定水位になることがあります。

ふろ水ポンプが運転を始めてから、ふろ水を吸い上げるのに約3分かかります。

*ふろ水を吸い上げるときにポンプ音が大きくなりますが、異常ではありません。

■ふろ水利用の取り消し

(ふろ水)を押す。
ポンプの運転が止まり､水道水が給水されます。

■給水中にふろ水がなくなったとき ふろ水が正しく給水されなかったとき

エラー表示「E5」が出ます。
ふたを一回開閉し、(スタート)を押すと、水道水が給水されます。

■入浴剤や浴室用洗剤の入った残り湯の利用

●入浴剤や浴室用洗剤が入った残り湯は、成分により洗濯・脱水槽を傷めたり、衣類に色が移る恐れがありますので、入浴剤や浴室用洗剤の取扱説明書をよくお読みください。

●次の入浴剤の入った残り湯は使用しないでください
イオウ入りのもの…洗濯・脱水槽のステンレスがさびることがあります。

1 電源を入れる

2 洗濯物を入れる

3 コースを選ぶ

●運転内容が変更できます。 P22
「ドライ」コースはふろ水の利用ができません。

4 (ふろ水)を押し、ふろ水利用の内容を選ぶ

▶**必要に応じて(予約)を選ぶ** P21

5 (スタート 一時停止)を押す

●給水前にパルセーター（回転板）が回転して洗濯量をはかり､洗剤量（目安）を表示します。（ふたが開いているとき）

6 洗剤量表示を目安に洗剤などを入れ、内ふた・ふたを閉める

●ふたを開けたまま運転するとすすぎや脱水の前で運転が止まります。
洗濯用剤量の目安 P42
洗剤量の表示 P9
液体洗剤･柔軟仕上剤 P43

洗濯終了

ブザーで洗濯の終了をお知らせ
●水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

▶**タイマー乾燥をするとき** P33

チャイルドロックについて お子様がいらっしゃるご家庭に

チャイルドロックは、洗濯時に幼児が誤って洗濯・脱水槽に落下した場合のことを考え、異常を音で報知すると共に運転を停止し、排水する機能です。

⚠警告	**幼児に槽をのぞかせない** 洗濯機の近くに台などを置かないでください。 洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをしたりおぼれることがあります。	禁止

チャイルドロックの報知ブザーが鳴った時は、洗濯・脱水槽の中を確認してください。

●チャイルドロックの動作について

- チャイルドロックが設定されている状態で洗濯運転中にふたを開けると、ブザーが鳴り、運転が止まります。その状態が約5秒続くと異常と判断し、洗濯液を排水します。ブザーは5秒以内にふたを閉めるか、電源を切るか、チャイルドロックを解除するまで鳴り続けます。
- ふたを開けたままスタートすると、少しの間は給水しますが、一定量水がたまるとブザーが鳴り、5秒過ぎると異常と判断し、洗濯液を排水します。

■チャイルドロックの設定

を押し、洗濯機が洗濯運転を始めてから次の操作を行ってください。

ピピピッとブザーが鳴りチャイルドロック表示が点灯します。

＊1度設定すると記憶します。毎回設定する必要はありません。

■チャイルドロックの取り消し

ピーピピッとブザーが鳴りチャイルドロック表示が消灯します。

＊運転中でも取り消しできます。

■チャイルドロック中に衣類や洗剤を追加するとき

ふた・内ふたを開け、ブザーが鳴ったまま、すばやく衣類や洗剤を投入して、内ふた・ふたを閉める。（ふたが開いていると約5秒後に排水を始めます）

- 5秒過ぎるとふたを閉めても運転は止まっています。チャイルドロックを取り消すか、電源を切り、再度設定し直してください。

ブザー音が気になる場合はチャイルドロックを取り消した後、ふた・内ふたを開けて衣類,洗剤を入れ、内ふた・ふたを閉じてチャイルドロックを設定し直す。

- チャイルドロックの設定を忘れずに行ってください。

タイマー乾燥

●洗濯から乾燥までの自動運転ではありません。
●タイマー式乾燥のため、乾きぐあいに関係なく設定した時間運転したら終了します。衣類の量や種類・気温・湿度・据え付け場所により乾燥不足や乾き過ぎになることがあります。
●脱水していない衣類を乾燥しようとすると、スタート後 A 表示が出ることがあります。脱水してから乾燥してください。 P62

乾燥の前に

■衣類の確認

乾燥できる衣類であるか確認してください。

乾燥できない衣類

デリケートな衣類 P26

●絹、皮製品
縮んだり、型くずれ、変色する場合があります。

●座布団や枕、ふとんなど、わたやウレタン（スポンジ類）を使ったもの
洗濯物をいためたり、故障の原因になります。

●毛布、ふとん、カーペットカバー
毛だおれするなど洗濯物を傷めたり、故障の原因になります。

●マット類やペットの毛が付着した敷物など
糸くずや毛などがたまることにより性能が低下する原因になります。

●市販の洗濯補助具（洗濯ボール、ごみ取りフィルターなど）
熱により変形・破損するなど、洗濯物を傷めたり、本体の故障の原因になります。

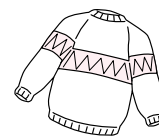
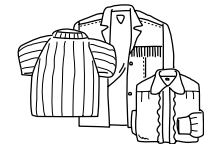
●ウールなどの獣毛製品、その混紡製品
毛が抜ける、縮む、型くずれするなど洗濯物を傷めることがあります。

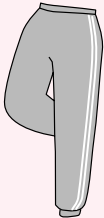
P26 P38

●のりづけした衣類
のりづけしたい場合は、乾燥後に「スプレーのり」を使用してください。

●「タンブラー乾燥はおさけください」と表示のあるもの
この製品もタンブラー乾燥（回転ドラム式）に該当します。

●吊り干し、平干し、手洗い、ドライの取扱い絵表示のあるもの

●その他の衣類
タイツ、レースや刺繍など飾りや付属品のあるもの、新合繊（超極細繊維）の衣類

⚠警告

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油などが付着した衣類や、ウレタンフォーム製の洗濯物は乾燥しない

油の酸化熱による自然発火や引火の原因になります。

禁　止

引火物は洗濯・脱水槽に入れない

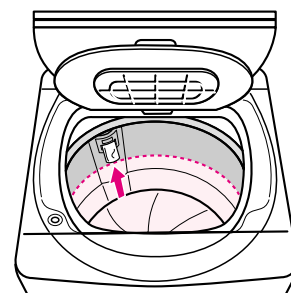
灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物は入れないでください。爆発や火災の原因になります。

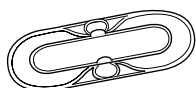
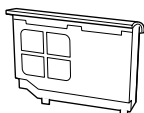
引火物禁止

■乾燥容量の目安

（　）内は1枚あたりの重さの目安です。種類によって重さは変わります。

衣類2.0kgの目安

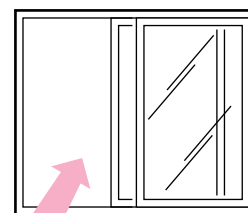
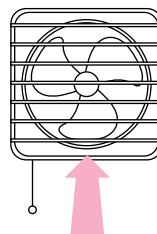
脱水後の衣類をほぐして入れたときの目安は、フィルターの下の位置になります。

■運転前に確認してください

●乾燥フィルター、吸気フィルターは掃除したものを確実に取り付ける。（使用後は乾燥フィルターは毎回、吸気フィルターは月1回程度掃除。）P50

乾燥フィルター

吸気フィルター

※フィルターが目づまりすると空気の通りが悪くなり、乾きが悪くなります。

※フィルターを確実にセットしないで使用すると、ほこりが機内にたまり、故障の原因になります。

●換気を十分に

性能を十分に発揮させるため、運転中は換気をよくしてください。

※換気が不十分な場合、温度差によって窓、壁、床に結露の恐れがあります。

⚠注意

防水性のシート、マット、衣類（※）、水を通しにくい繊維製品は洗濯や脱水、乾燥をしない

洗濯物が飛び出したり脱水中に異常振動し、けがをしたり、洗濯機、壁、床などの破損、衣類の損傷などの恐れがあります。
※サウナスーツ、雨ガッパ、釣具用上着・ズボン、スキーウェア、寝袋、オムツカバー、ウェットスーツ、自転車・バイク・自動車カバーなど。

洗濯禁止

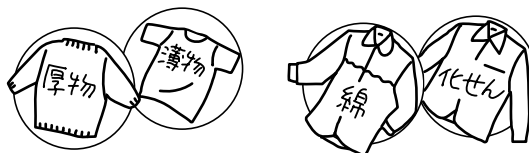
マット類は乾燥しない

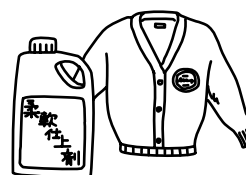
マットの樹脂が洗濯・脱水槽に付着したり、他の衣類を汚すことがあります。素材によっては化学変化による自己発熱で自然発火の原因になります。

乾燥禁止

上手な乾燥のしかた

■乾きムラをなくすためには

- ●洗濯物を入れ過ぎない。
- ●脱水を十分にする。
- ●厚物と薄物、綿と化せんは分けて乾燥する。
- ●洗濯ネットに入れて乾燥しない。
- ●乾燥フィルターは毎回掃除する。

■静電気を少なくするには

- ●洗濯のときに柔軟仕上剤を使うと、静電気がおこりにくく風合いがよくなります。

■衣類のいたみ・からみを防ぐには

- ●ひもはむすび、ファスナーやホックは閉じて裏がえしておく。

■色移りを防ぐためには

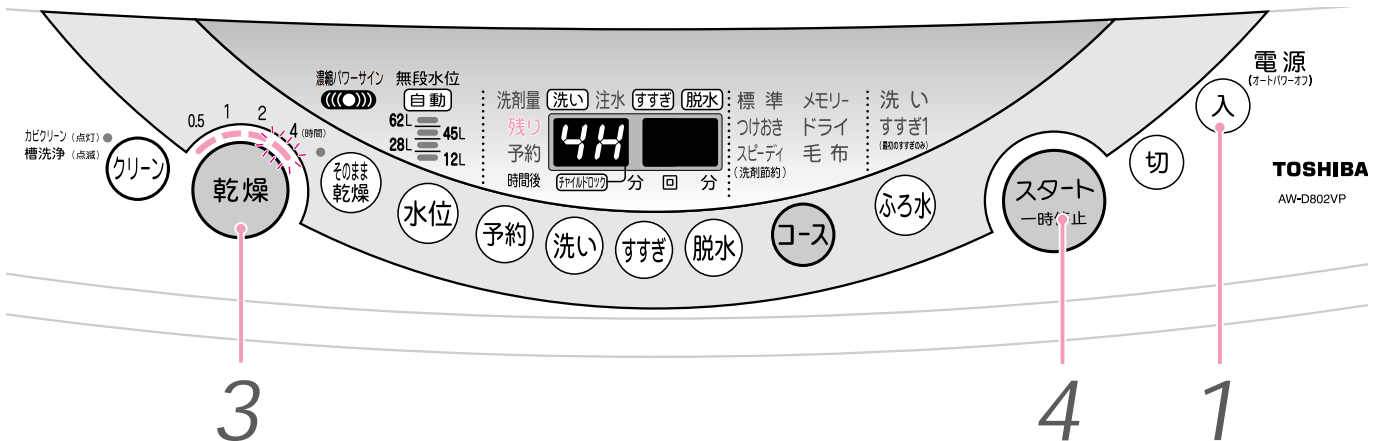
- ●色落ちしやすいもの（色物の衣類・ジーンズなど）は必ず分けて乾燥する。

■次の場合は湿り気が残る場合があります

- ●生乾きの衣類と一緒に湿った衣類を入れたとき。
- ●エリもとやポケットなどの厚いところ。

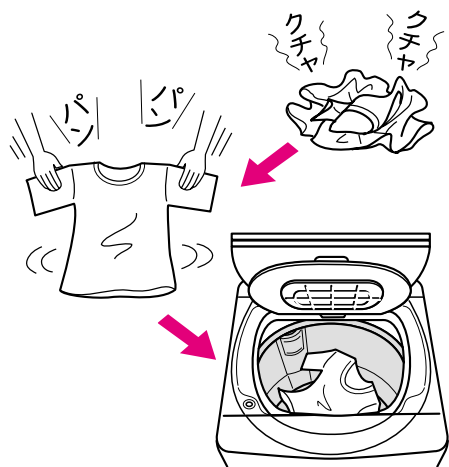
脱水した衣類や少し湿った衣類の仕上げのとき

乾燥コース

選んだ時間だけ乾燥運転を行います。運転時間は0.5、1、2、4時間が選べます。

■乾燥できる量の目安

●乾燥容量は、2.0kg以下。P34

■衣類の入れ方

●衣類は十分に脱水し、ほぐし、シワをのばして片寄らないように入れる。

お願い

●乾きが足りないときはもう1度運転してください。

1 **電源を入れる**

2 **十分に脱水した洗濯物を入れ、内ふた・ふたを閉める**

3 **（乾燥）を押して時間を選ぶ**

●選んだ時間までランプが点灯します。

4 **（スタート 一時停止）を押す**

●運転中の時間はランプが点滅し、残り時間に応じてランプが消灯します。

乾燥終了

ブザーで乾燥の終了をお知らせ

●乾燥後はソフトキープ運転をします。P37

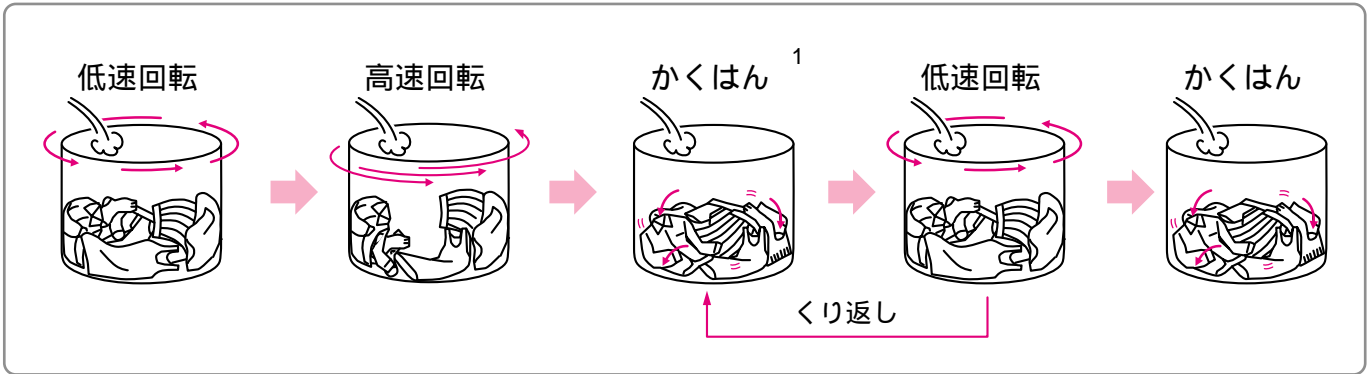
●運転終了後は乾燥フィルターを掃除してください。P50

⚠ 注意

乾燥中および乾燥終了直後は乾燥ユニット上部および洗濯・脱水槽内部をさわらない

高温になっており、やけどをするおそれがあります。

接触禁止

乾燥コースの行程

※1：0.5、1時間設定の場合はかくはんから始まります。

■乾燥時間の目安

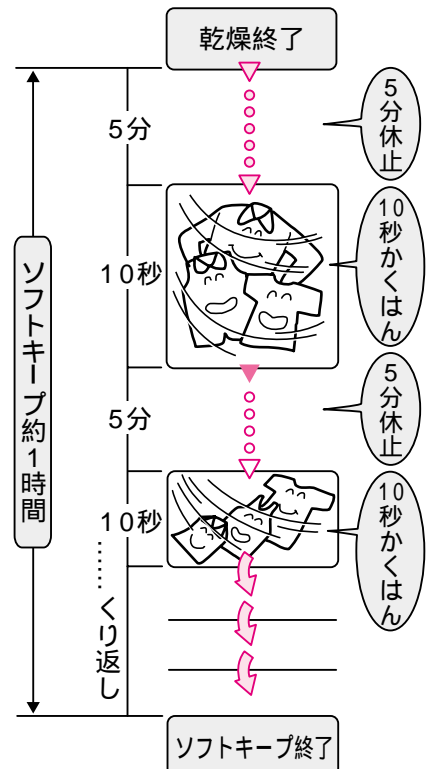
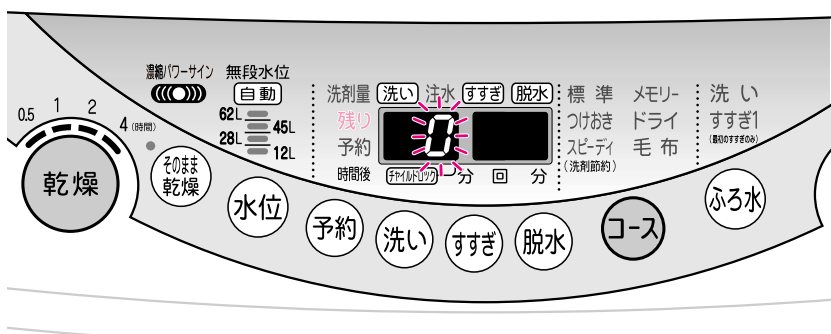
●乾燥時間は洗濯物の種類、脱水のしかた、室温などで変わります。
※右記の表は脱水6分、室温20°Cの場合です。
●少し湿った衣類は湿りぐあいに応じて、乾燥時間を選んでください。

乾燥容量	約2.0kg
目安時間	約200分
設定時間	4時間

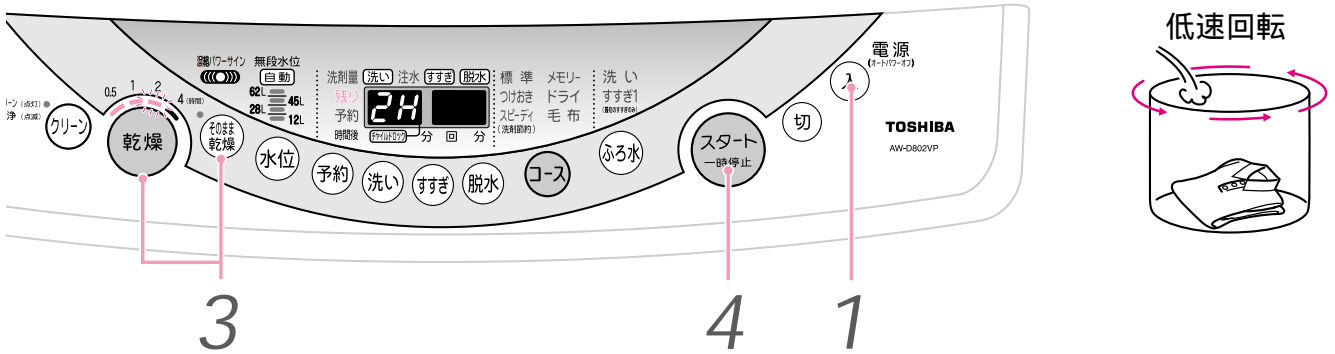
■ソフトキープ運転について

「ソフトキープ」は乾燥運転終了後、衣類のシワ付きを少なくするための機能です。
乾燥は終わっていますので、早めに衣類を取り出してください。
ふたを開ければ、自動的に電源が切れ、終了します。

■ソフトキープ運転中の表示

●残り時間表示が「0」で点滅します。

ズックや洗濯物が1枚のとき

そのまま乾燥コース

綿シャツ（1枚）、セーター（1枚）やズックなど少量のものを乾燥させたいときに使用します。パルセーターでかくはんせずに洗濯・脱水槽を低速回転させ、温風乾燥します。

■乾燥できる量の目安

0.4kg以下で1枚の衣類

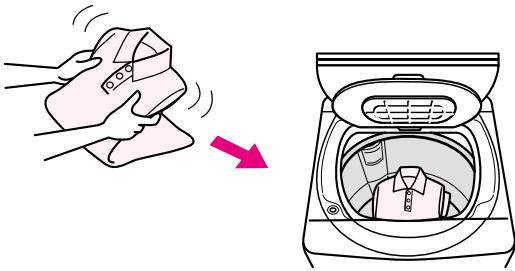
乾燥できない衣類 P33

デリケートな衣類 P26

■乾燥時間の目安

乾燥容量	乾燥時間の目安
綿シャツ1枚	約1～2時間
ズック1足	約1～2時間

■衣類の場合

1. 十分に脱水した衣類を下記のようにパルセーターがかくれるくらいできるだけ大きくたたむ。
2. パルセーターの上にのせる。

■ズックの場合

1. 十分に水気をふきとる。
2. パルセーターの真ん中にのせる。

お願い

●乾きが足りないときは上と下を反対にし、もう1度乾燥してください。
●衣類などについている装飾品には熱に弱いものがあります、取りはずしてください。

1 電源を入れる

2 十分に脱水した洗濯物を入れ、内ふた・ふたを閉める

3 そのまま乾燥 を押し、乾燥 を押して時間を選ぶ

●選んだ時間までランプが点灯します。

4 スタート 一時停止 を押す

●運転中の時間はランプが点滅し、残り時間に応じてランプが消灯します。

乾燥終了

ブザーで乾燥の終了をお知らせ

●乾燥後はソフトキープ運転はしません。
●運転終了後は乾燥フィルターを掃除してください。 P50

シワを少なく乾燥するには

●運転の途中で「一時停止」し、上と下の衣類を入れ替える。
●乾燥容量（2.0kg）の7〜8割と少なめにする。
●乾燥時間を短めに設定し、生乾きの状態まで乾燥したら、すぐに「つり干し」にする。
●乾燥終了後は、すぐに取り出す。

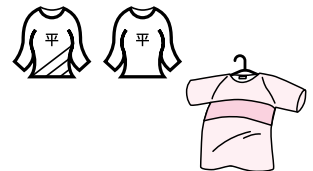
■衣類とシワについて

●生地の厚み、織り方、素材により、同じような衣類でもシワになる程度が異なります。
例えば薄手の平織りやクレープなどはシワになりやすい生地です。

比較的シワになりにくい衣類（例）

比較的シワになりやすい衣類（例）

縮みを少なくするには

●乾燥前に衣類の取り扱い絵表示・素材表示を確認する。
●つり干しでほとんど乾かし、仕上げ乾燥に利用するなど天日乾燥と上手に使い分ける。
●綿製品などでいったん縮んだ衣類は十分ぬらしてから引っ張ると、ある程度戻すことができる。

■衣類の縮みについて

衣類は水につけたり、洗濯しただけでも縮むことがあります。これは衣類の縫製時、生地のずれ等がないように引っ張って加工することがあるためです。また、乾燥運転するとさらに縮みが大きくなるものもあります。

綿・麻などの衣類…繊維が水分を含んで膨らみ、乾いて細くなるときに機械力が加わると、糸と糸の間がつまり縮むことがあります。生地の織り方（ニット、ガーゼなど織り目の粗い生地など）により縮みが大きくなる場合があります。

化繊の衣類…………化繊は水分を吸収しないため、綿・麻製品のように機械力で縮むことはありませんが、ポリウレタンやアクリルの入った靴下などの衣類は乾燥時の熱により繊維自体が縮むことがあります。

洗濯コースについて（　）内はAW-D702VPの場合

コース		標準設定の内容 ※印は初期設定です				
		水　位	洗い（約）	すすぎ	脱水（約）	所要時間（約）
濃縮パワー洗浄	標準	12L～62L（12L～60L）無段階自動設定	8～12分※	シャワーすすぎ 1～2回 ▶ ためすすぎ	6分	約24分～46分（約24分～45分）
濃縮パワー洗浄	スピーディ	12L～62L（12L～60L）無段階自動設定	5分	注水すすぎ 1回	4分	約15分～24分（約15分～23分）
濃縮パワー洗浄	つけおき	12L～62L（12L～60L）無段階自動設定	予洗い 5分（つけおき 60分）仕上げ洗い 5分 P20	ためすすぎ（脱水なし）▶ シャワーすすぎ 2回 ▶ ためすすぎ	6分	約89分～120分（約89分～120分）
濃縮パワー洗浄	メモリー	12L～62L（12L～60L）無段階自動設定	設定内容による			
ドライ		28L～45L（28L～45L）自動設定	6分	シャワーすすぎ ▶ ためすすぎ	6分	約19分～24分（約19分～24分）
毛　布		62L（60L）	12分	注水すすぎ ▶ 注水すすぎ	8分	約51分（約51分）

●「乾燥」コースの設定内容 P36「カビクリーン」コースの設定内容 P50「槽洗浄」コースの設定内容 P51

●所要時間は給水時間（毎分15Lで計算）と排水時間を含んでいます。洗濯物の量、センサーによる検知、脱水時の洗濯物の片寄り、

※この本体の「標準」は、コースを押して「濃縮パワーサイン」ランプを消灯にし、自分流の設定で洗い8分、すすぎ2回、

パネル表示例	自分流の設定の内容 洗い（約）	すすぎ	脱水（約）
洗剤量 洗い 注水 すすぎ 脱水 残り 予約 12 36 時間後 チャイルドロック 分 回 分	0～12分 1分単位で 選べます	1回 ため 1回注水 注水 2回 シャワー ため 2回注水 シャワー 注水 3回 シャワー シャワー ため 3回注水 シャワー シャワー 注水 4回 シャワー シャワー ため ため 4回注水 シャワー シャワー 注水 注水 表示消灯 すすぎなし	0～9分 1分単位で 選べます
洗剤量 洗い 注水 すすぎ 脱水 残り 予約 5 14 時間後 チャイルドロック 分 回 分			
洗剤量 洗い 注水 すすぎ 脱水 残り 予約 1H 46 時間後 チャイルドロック 分 回 分	0・30分 1・2・4・ 6・8時間が 選べます	2回 ため※ ため 2回注水 ため※ 注水 3回 ため※ シャワー ため 3回注水 ため※ シャワー 注水 4回 ため※ シャワー シャワー ため 4回注水 ため※ シャワー シャワー 注水 5回 ため※ シャワー シャワー ため ため 5回注水 ため※ シャワー シャワー 注水 注水 ※1回目のためすすぎは脱水しません。	
	「標準」と同じ内容になります。		
洗剤量 洗い 注水 すすぎ 脱水 残り 予約 6 26 時間後 チャイルドロック 分 回 分	0～12分 1分単位で 選べます	**「標準」と同じすすぎの内容になります。 「すすぎなし」～「2回注水」まで選べます。**	0～6分 1分単位で 選べます
洗剤量 洗い 注水 すすぎ 脱水 残り 予約 12 28 時間後 チャイルドロック 分 回 分		**すすぎの内容はためすすぎか注水すすぎになります。 「すすぎなし」～「3回注水」まで選べます。 「注水」ランプが消灯のときには、ためすすぎになります。**	0～9分 1分単位で 選べます

水道水圧、排水の状態により実際の所要時間は変わります。28Lより水位が低いとシャワーすすぎはためすすぎになります。
脱水6分を選んでください。

洗濯用剤について

■洗濯用剤量の目安

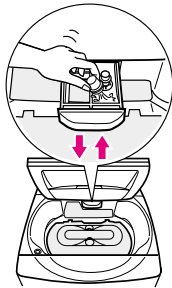
（　）内は「つけおき」コースの場合

洗濯量の目安	洗剤量表示 カップ/キャップ		手動設定水量		合成洗剤			粉石けん	柔軟仕上剤	
	カップ	キャップ	AW-D802VP	AW-D702VP	粉末洗剤	液体洗剤	液体中性洗剤	粉末洗剤		
					20g／水30L	20mL／水30L	40mL／水30L	40g／水30L	20mL／水30L	6.6mL／水30L（濃縮タイプ）
8kg 7	1.2		62L	60L	約44g	約44mL	約83mL	約83g	約41mL	約14mL
6	1.1				約40g	約40mL	約80mL	約80g	約40mL	約13mL
5	1.0				約37g	約37mL	約75mL	約75g	約37mL	約12mL
	0.9 (2.0)				約34g (約102g)	約34mL (約102mL)	約68mL	約68g	約34mL	約11mL
4	0.8 (2.0)	3.0	45L	45L	約30g (約90g)	約30mL (約90mL)	約60mL	約60g	約30mL	約10mL
3	0.7 (2.0)				約27g (約81g)	約27mL (約81mL)	約53mL	約53g	約27mL	約9mL
	0.6 (1.8)				約23g (約69g)	約23mL (約69mL)	約47mL	約47g	約23mL	約8mL
2	0.5 (1.5)	1.9	28L	28L	約19g (約57g)	約19mL (約57mL)	約37mL	約37g	約19mL	約6mL
	0.4 (1.2)				約16g (約48g)	約16mL (約48mL)	約32mL	約32g	約16mL	約5mL
1	0.3 (0.9)				約11g (約33g)	約11mL (約33mL)	約21mL	約21g	約11mL	約4mL
	0.2 (0.6)		12L	12L	約8g (約24g)	約8mL (約24mL)	約16mL	約16g	約8mL	約3mL
毛布コース					――	約44mL	約83mL	――	約41mL	約14mL

- 「標準」「つけおき」「スピーディ」「メモリー」の洗剤量（目安）表示は水量55Lでスプーン1杯の使用量に合わせています。また、「ドライ」の洗剤量（目安）表示は水量30Lでキャップ2杯の使用量に合わせています。なお、使用量については洗剤の説明書に従ってください。
- 粉末洗剤には合成洗剤と粉石けんがあります。粉石けんとは天然油脂によりつくられた洗剤です。洗剤の表示を見て確認してください。
- 洗剤は適量入れてください。入れすぎると泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。
- 洗濯物の種類により、水位が異なることがあります。

■柔軟仕上剤を使うとき

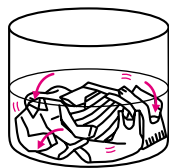
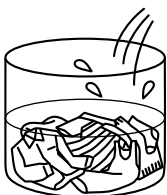
使用量および使用方法は、柔軟仕上剤の説明書をよく読んで正しくご使用ください。
運転中は「一時停止」してから入れてください。

- 柔軟仕上剤の使用量は洗剤量表示を目安に仕上剤投入ケースに入れます。
  最終すすぎで自動的に投入されます。 P42
- 投入ケースは確実に閉めてください。

お願い
- 仕上剤投入ケースのキャップは確実に押し込んでください。キャップのつばより上までは柔軟仕上剤を入れないでください。入れすぎると洗濯の途中で流れ出てしまいます。
- 柔軟仕上剤を入れたまま長い時間放置しないでください。固まることがあります。 P49
- 操作パネル部にこぼさないようにしてください。こぼしたときはすぐに拭きとってください。
- すすぎ給水中に投入ケースを開けると、水がこぼれるので、開けないでください。

- 投入ケースはサイフォン構造のため、わずかに薄い液が残ることがありますが異常ではありません。
- 濃縮タイプは入りにくいことがあるため、3倍に薄めてから入れてください。

いつ柔軟剤を入れたらいいの

この間に柔軟仕上剤を入れる　柔軟仕上剤が入る

給水　洗い　最終すすぎ

- 洗い終わるまでに柔軟仕上剤投入ケースへ入れてください。最終すすぎのときに、自動的に槽内へ投入されます。

■液体洗剤・漂白剤を使うとき

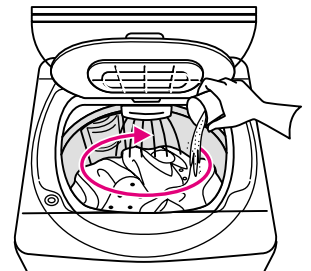
使用量および使用方法は、液体洗剤、漂白剤の説明書をよく読んで正しくご使用ください。

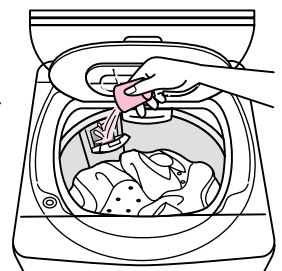
●液体洗剤

- 液体洗剤は給水時の水に少しずつ溶かしながら直接洗濯・脱水槽に入れます。予約の時は「粉末洗剤・液体洗剤・液体漂白剤投入口」へ入れてください。

- 液体石けんをお使いの場合は石けんカスが出やすいため、定期的に槽洗浄を行ってください。 P51

●粉末漂白剤

- 洗濯・脱水槽の回りに入れます。予約の時は白いタオルに粉末漂白剤を包み、パルセータの上に乗せてください。

●液体漂白剤

- 漂白剤を使用するときは、使用量の3倍の水に薄めてから給水時に「粉末洗剤・液体洗剤・液体漂白剤投入口」に入れます。
- 直接洗濯・脱水槽に入れたり、洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。
- 予約の時は液体漂白剤を先に入れ、その後に洗剤を入れてください。
- 投入口の位置をかえるときは電源を入れ、ふたを開けたまま脱水のみ設定しスタートします。「E2」表示が出たら、洗濯・脱水槽を手で回して入れやすい位置にし、電源を切ってください。

お願い
操作パネル部にこぼさないようにしてください。
こぼしたときは、すぐに拭きとってください。

（つづく）

■粉石けんを使うとき

粉石けんを使用するときは、あらかじめ溶かしてから使用してください。

●洗濯機を使用して溶かすとき

1 **「標準」コースで水位28L洗い3分をセットし、洗濯量にあった粉石けんを入れ、スタート一時停止を押す** P42

●粉石けんが溶けたのを確認して、電源を切ります。

2 **電源を入れ直し、洗濯物を入れて水位を設定し、コースを選んで スタート一時停止 を押す**

●水温が低く粉石けんが溶けにくいとき

●30°C前後のぬるま湯約5Lを別の容器（バケツなど）に用意し十分かき回しながら（水が少ないと固まることがあります）、粉石けんを少しずつ入れます。

●粉石けんが固まったり、粒が残ったりしないよう十分溶かしてから洗濯・脱水槽へ入れます。

お願い

●粉石けんは合成洗剤に比べ、洗濯物に石けんカスが残ったり洗濯・脱水槽が汚れやすくなるので、すすぎ回数を増やすことをおすすめします。よくすすがないと、黄ばみや石けんの臭いがつく原因となります。また、1ヶ月に1度の槽洗浄をおすすめします。 P51

●粉石けんの使用量が多すぎたり、低温の水に直接粉石けんを入れたりすると、洗濯物や糸くずフィルターに洗剤が残ることがあります。

■のりづけをするとき

使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり（酢酸ビニール系、PVAc）

※それ以外ののりは、故障の原因になる恐れがあるため、使わないでください。

●のりづけできる量：1.5kg以下

●のりの量は、のりの取扱説明書に表示されている分量を目安にしてください。

●のりづけのしかた （ ）内はAW-D702VPの場合

1 **電源を入れ、洗濯物を入れる**

2 **水位 を押して、水位45L**

洗い を押して、洗い時間3分

脱水 を押して、脱水時間2分または3分

をそれぞれ選ぶ

3 **スタート一時停止 を押す**

4 **パルセーター（回転板）が回り始めたら、のりを入れてふたを閉める**

●のりづけ終了後は、洗濯・脱水槽についたのりを落とすために「槽洗浄」コースを運転するか「62L（60L）」水位まで水を入れ、洗い10分、脱水2～3分を行ってください。 P51

お願い

のりづけした衣類は、「タイマー乾燥」や「そのまま乾燥」で運転したり衣類乾燥機に入れないでください。

こんな洗濯がしたい

こんな洗濯がしたい	こうすればできます	参照ページ
自動設定の水量を変えたい	自動設定の水量は5Ｌまたは10Ｌ単位で設定を変えることができます。	P47
どろ汚れやシミ汚れ、えり・袖口の汚れを予洗いなしでしっかり落としたい	「つけおき」コースをおすすめします。 つけおき時間を長くしたり、ふろの残り湯を使用すればさらに汚れ落ちは良くなります。	P20 P30
衣類の黄ばみ・黒ずみを防ぐには	１ヶ月に１度程度「つけおき」コースを使用していただくと防ぐことができます。	P20
洗濯液を2度使いたい	1度めは汚れの少ないもので、汚れのひどいものは2度目に洗いましょう。 **1.**1度目の洗濯物を「洗いのみ」行う。 **2.**運転終了後、1度目の洗濯物を軽く絞りバケツなどに取り出す。 **3.**2度目の洗濯物を入れる **4.** 好みのコースと水位を選び、運転する **5.**運転終了後、2度目の洗濯物を取り出し、1度目の洗濯物を洗濯・脱水槽に戻す **6.**好みのコースで「すすぎ」「脱水」を行う	P23
もっとすすぎたい	「標準」コースのすすぎよりさらにすすぐにはすすぎ回数を増やしてください。 他のコースでもすすぎ回数の変更はできます。 シャワーすすぎをためすすぎに変更することもできます。	P22 P47
脱水シワを減らしたい	洗濯が終了したらすぐに取り出してください。また、ワイシャツやブラウスなど薄地のものは分けて洗濯し、脱水時間を１～2分に変更すれば、シワを軽減することができます。	P22
風合いよく仕上げたい	柔軟仕上剤の使用をおすすめします。 柔軟仕上剤と洗濯機用の洗濯のりを混ぜて使用するとその割合に応じて、風合を変えることができます。（柔軟仕上剤が多いとやわらかく、洗濯のりが多いとハリのある仕上がりになります。）そのときはのりづけと同じような方法で仕上げてください。	P44
糸くずが付着するのを防ぎたい	糸くずが付着するのを防ぐには、糸くず防止用洗濯ネットを使用したり、糸くずが気になる衣類は分けて洗ってください。	──
色移りを防ぎたい	色落ちしやすいと表示のある衣類もありますが、ジーンズや濃色の衣類は一般的に色落ちしやすいものです。はじめの数回はそれだけ別にして洗ってください。	──

知っていると便利

設定内容を全て初期状態に戻すには

1 ふろ水 を押しながら電源を入れる

2 **ブザーがピピピッと鳴り、約5秒後に設定解除完了。電源を切る。**
- 記憶している全ての内容が初期の状態に戻ります。

終了ブザー音を消したいとき

1 コース を押しながら電源を入れる

2 **ブザーがピピピッと鳴り、約5秒後に設定完了。電源を切る。**
- 終了ブザーが鳴るようにするには同様の操作を再び行ってください。ブザーがピーピピッと鳴ります。
- 1度設定すると記憶しています。

凍結の恐れがあるとき

- 洗濯・脱水槽、排水ホース、給水ホースの水は十分抜いてください。
- ふろ水用給水ホースは、浴槽から出し、ふろ水用給水継手をはずし、ホース内の水は十分抜いてください。
- ふろ水ポンプの内部には常に水が残っています。洗濯機上部全体に毛布などを掛けて保温してください。

■もし凍結してしまったら

給水ホース、ふろ水用給水ホースの場合

40°C以下のお湯につけます。

- 凍結したホースを無理に曲げないでください。破損する恐れがあります。

本体の場合

洗濯・脱水槽にお湯（40°C以下）をパルセーター（回転板）が全部つかるまで入れ、30分程度放置し、パルセーターが手で回ることを確かめてください。

水位を調節したいとき

■洗濯中に調節する場合　（　）内はAW-D702VPの場合

水位 を押し、設定したい水位を点灯させる

- 水位 を押すと表示は水位が高くなる方向に移動します。
  1番上の水位 62L（60L）のとき 水位 を押すと、1番下の水位12Lになります。
- 1番上の水位 62L（60L）でも水が足りない場合は、水位 を2秒以上押し続けると押している間、水が追加されます。

＊洗濯物の量に対し水量が多すぎると、水はねしたり、水流が弱くなることがあります。

■自動設定の水位を微調節する場合　パネル表示例：AW-D802VP

洗濯量に合わせて水位は自動的に設定されますが、その水位が低いまたは高いと感じる場合は次の方法で調節できます。
●1度設定すると記憶しています。

シャワーすすぎをためすすぎにしたいとき

シャワーすすぎ2回分がためすすぎ1回になります。
ふろ水をすすぎまで使用したときと同じすすぎかたになります。 P30

1 **電源を入れる**

2 **すすぎ を3秒間押します。ブザーがピピピッと鳴り、約5秒後に設定完了。電源を切る。**

●シャワーすすぎに戻すには、同様の操作を再び行ってください。ブザーがピーピピッと鳴ります。
●1度設定すると記憶しています。

知っていると便利

お手入れ

⚠警告

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり修理しない

火災、感電、けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

分解禁止

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。

プラグを抜く

本体各部に水をかけない

感電・ショートすることがあります。

水かけ禁止

⚠注意

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火する恐れがあります。

引っ張り禁止

運転中の洗濯機の下に手などを入れない

回転部があり、けがをする恐れがあります。

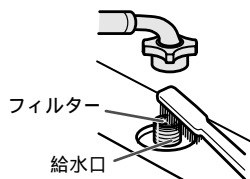
手などを入れない

本体やパネルの汚れは

やわらかい布で拭きとってください。
汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみこませた布でふいてください。

台所用洗剤以外の化学雑巾、ベンジン、シンナー、クレンザー、住宅用・家具用合成洗剤などは使用しないでください。変色・傷や破損の原因になります。

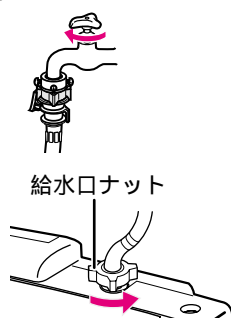
給水時、水の出が悪くなったとき

給水口にゴミがつまっていることがあります。給水ホースをはずし、フィルターを歯ブラシなどで掃除してください。

●フィルターがはずれないように注意してください。
●給水ホースをそのままはずすと水が飛び散りますので、次の手順で水抜きを行ってください。

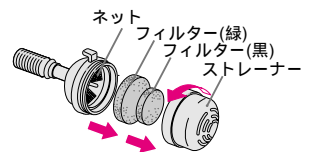
■給水ホースのはずしかた

1 水栓を閉じます

2 電源を入れ(スタート/一時停止)を押します。

3 (水位)を押し、数秒後に洗濯機本体側の給水口ナットをゆるめてはずします。

ふろ水用給水ホースは

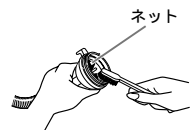
■はずしかたとお手入れ

1 ストレーナーを左の方向に回してはずします。

2 ストレーナーとフィルターに付いたゴミを水中で洗い落とします。

フィルター
ストレーナー

●フィルターが目づまりしたときは販売店でお買い求めください。

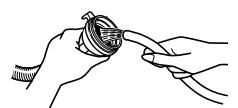
P57

3 ネットに付着しているごみを、歯ブラシなどで掃除します。

ネットを破ったり、取りはずしたりしないでください。故障の原因になります。

■取り付けかた

フィルターは必ず大きい方（緑）をネット側、小さい方（黒）をストレーナー側に付けてセットし、右の方向に回して取り付けます。

■ホース内部のお手入れ

右記のようにホースの中に水を流し込み、内部のごみを洗い流してください。

※汚れが落ちない場合は、1Lの水に台所用洗剤を約20mL入れて溶かし、その中にふろ水用給水ホースを約1時間つけ込んだ後水洗いしてください。

糸くず取りネットは

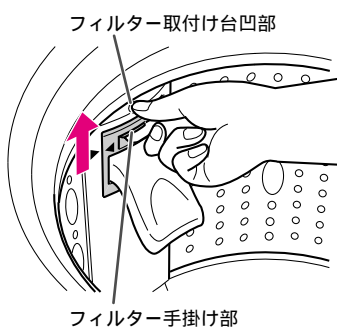
お洗濯のつど、きれいにしてください。

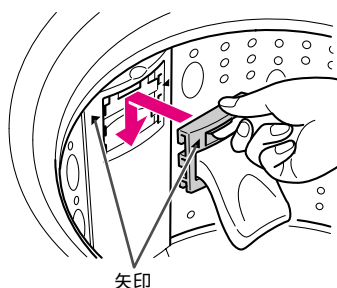
糸くずがたまったまま使用すると、ネットが破れやすくなり、また糸くずが取れにくくなります。

●糸くず取りネットは消耗品です。ネットが破れたときは販売店でお買い求めください。 P57

フィルター上

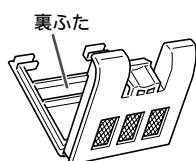
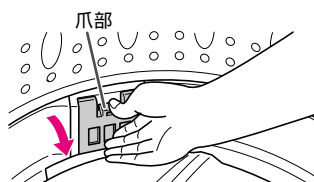
■はずしかた

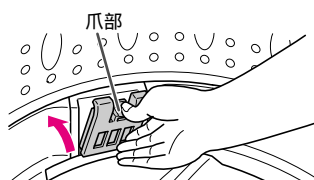
フィルター取付け台凹部に指をかけ、フィルター手掛け部を持って指で持ち上げてはずします。フィルター上面に指を掛けた場合、指をはさむ恐れがあります。

■取り付けかた

「上側」と書いてある方を上にして、フィルター取付け台とフィルターの矢印（▶）の位置に合わせ、フィルター取付け台にセットし、カチッと音がするまで下に押し下げます。

フィルター下

■はずしかた

爪部に指を奥まで入れて、下に押さえながら手前に引きます。

フィルターの裏ふたを開き、たまった糸くずを掃除してください。

■取り付けかた

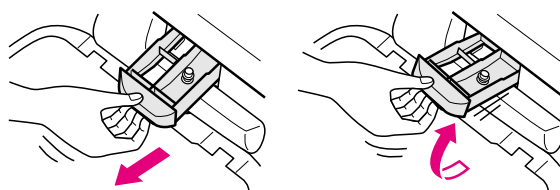
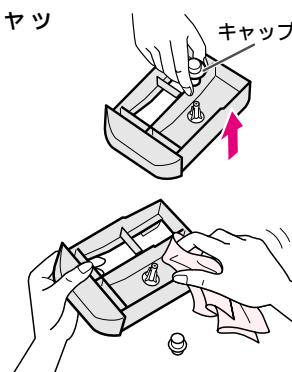
フィルターの爪部を上にし、フィルターの下部をフィルター取付け台にはめ込んでカチッと音がするまで、押し付けます。

粉末洗剤・液体洗剤・液体漂白剤投入口は

洗剤などが残っている場合はふき取ってください。

柔軟仕上剤投入ケースは

ケースをはずして洗ってください。また注入口の汚れは拭きとってください。

■はずしかたとお手入れ

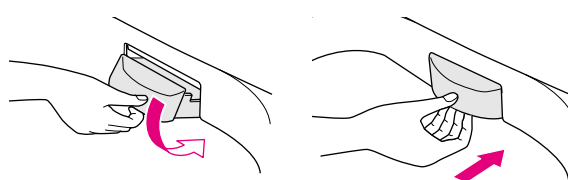
1 仕上剤投入ケースを手前に引き、上に持ち上げ、はずします。

2 仕上剤投入ケースのキャップをはずします。

3 仕上剤投入ケースを水洗いします。洗剤で汚れていたら、ぬれた布などで掃除してください。

4 注水口をぬれた布などで掃除してください。

■取り付けかた

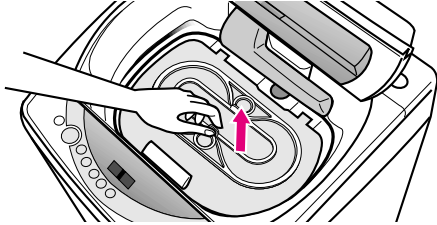
1 仕上剤投入ケースのキャップを取り付けます。キャップは必ず取り付けてください。キャップを取り付けずに運転すると柔軟仕上剤が投入されません。

2 はずすときと同様に斜めに持ち上げ、注水口に合わせて奥に押し込みます。

（つづく）

乾燥フィルターは

乾燥運転後必ず掃除してください。

■はずしかた

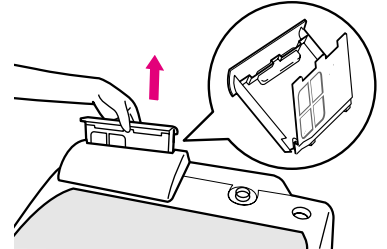
●つまみを持って上に引き抜きます。たまった糸くずを掃除機ややわらかいブラシなどで取り除いてください。

■取り付けかた

●爪部（6ヶ所）を合わせ下に押し下げ、爪部を確実にはめこみます。

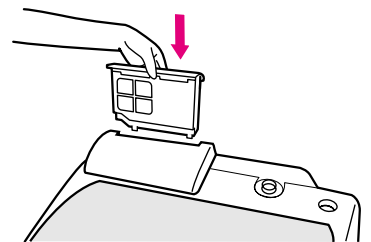
吸気フィルターは

月に1度程度掃除してください。

■はずしかた

●手掛け部を持ち、上へ引き上げます。フィルターの裏ふたを開き、たまったほこりなどを掃除してください。

■取り付けかた

●手掛け部を持ち、両側の溝を合わせ下に確実に押し付けます。

●フィルターを掃除しないと衣類に糸くずが付着したり、乾きが悪くなります。
●フィルターを取り付けずに運転すると、ほこりなどが機内に入り故障の原因になります。
●乾燥フィルター・吸気フィルターが破れたときは、販売店でお買い求めください。 P57

洗濯・脱水槽のお手入れ

(クリーン)ボタンで「カビクリーン」（ランプ点灯）と「槽洗浄」（ランプ点滅）が選べます。運転内容が異なりますので、ランプ表示を確認してください。

■洗濯・脱水槽を乾燥させたいとき

カビクリーンコース

●洗濯終了後に「カビクリーン」運転を行うと、洗濯・脱水槽の湿気を取り除くことができ、黒カビの発生を抑えることができます。週に1度程度行ってください。
※衣類は入れないでください。

1 電源を入れ(クリーン)を1回押し、「カビクリーン」（ランプ点灯）を選ぶ

2 内ふた・ふたを閉め(スタート/一時停止)を押す。
●約30分間、高速で回転しながら温風を吹き出し、洗濯・脱水槽を乾燥します。

お願い

●洗濯・脱水槽の黒カビの発生は、使用環境によって異なります。
●1度付いてしまった黒カビは「カビクリーン」運転で取り除くことはできません。定期的に「槽洗浄」を行うことをおすすめします。 P51

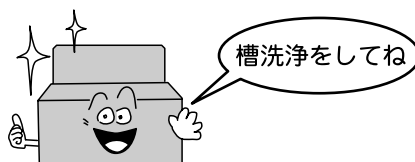
■洗濯・脱水槽を掃除したいとき

槽洗浄コース

汚れや水質により洗濯・脱水槽に汚れが付着し、においや排水不具合の原因になることがあります。また、付着した汚れが洗濯中にはがれ洗濯物を汚すことがあります。右記の場合などは、1ヶ月に1回程度槽洗浄を行ってください。また「のりづけを行った」場合は洗濯・脱水槽に付着したのりを落とすために「槽洗浄」を行ってください。

- 粉石けんを使用している。
- 洗剤を洗剤量表示より多めに入れている。

槽洗浄の行程

※1 低い水位から順番に水をためながらパルセーター（回転板）が回転します。ふろ水の場合は、若干動作が異なります。
※2 排水しながら脱水します。

1 電源を入れる

2 (クリーン)を2回押して「槽洗浄」（ランプ点滅）を選ぶ

- 行程ランプは点灯しますが、行程を選ぶことはできません。

▶ **必要に応じて (ふろ水) を選ぶ** P30

3 (スタート 一時停止)を押す

4 パルセーター（回転板）が回り始めたら塩素系漂白剤を約300ml入れる

- 最初の給水時に入れてください。
- 衣類は入れないでください。

5 内ふた・ふたを閉める

- ふたを開けたまま運転すると、脱水やすすぎの前で運転が止まります。

槽洗浄終了 ●ブザーで終了をお知らせ。

- 連続して槽洗浄を行わないでください。
- 洗濯・脱水槽の汚れがひどい場合は別売の洗濯機専用の洗濯槽クリーナー塩素系（部品コード90004003）をご使用ください。使用方法は洗濯槽クリーナーの説明書に従ってください。P57

ステンレス槽のさび（もらいさび）は

クリームクレンザーをスポンジか布につけて、さびを取り除いてください。
※金属たわしなどは洗濯・脱水槽を傷つけ、さびやすくなりますので使用しないでください。

ステンレス槽はさびにくい性質がありますが、万一のさびの発生を防ぐため、次のことをお守りください。

- ヘアピンなどのさびやすい鉄製品を洗濯・脱水槽に入れたままにしないでください。
- 断水後は鉄さびを多く含んだ水が出て鉄さびが付着することがあります。きれいな水が出るようになってから使用してください。

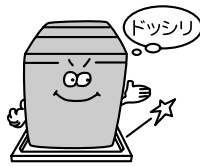
据え付け

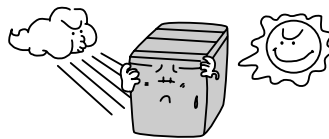
正しく設置しないと振動や騒音が大きくなったり途中で運転が止まる原因になります。
※別紙の「据付時のお願い」をごらんください。

> **⚠警告**
>
> **浴室や風雨にさらされる場所には設置しない**
>
> 感電や漏電による火災の原因となります。
>
> 水場での使用禁止

据え付け場所の選びかた

しっかりした水平な床に据え付けます。

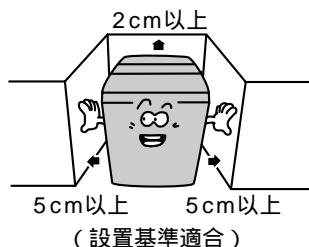
- ブロックや角材・レンガの上など不安定な所には据え付けないでください。振動や騒音が大きくなり危険です。防水パンをご使用ください。

直射日光のあたる場所はさけます。

- プラスチック部品の色や形が変わることがあります。

冬期凍結するおそれがある場所はさけます。

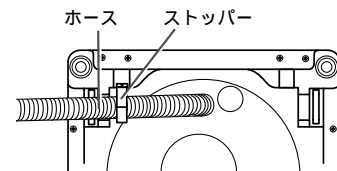
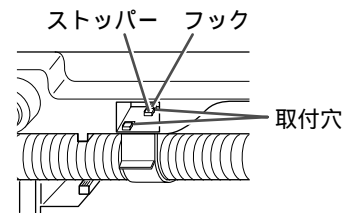
窓や換気扇のない場所はさけます。

- 乾燥時、壁や床が結露を起こす恐れがあります。

据え付けに必要な寸法を確認する。本体は左右の壁から5cm以上、背面から2cm以上離します。

- 壁面とのすき間が狭くなると、乾燥性能が低下したり、壁との接触による異常音の原因となります。
- クローゼット（収納庫など）のように周囲が囲まれた場所には設置しないでください。
- 前面は開放し、上面は壁などから50cm以上離してください。

排水ホースの付け換え

工場出荷時は排水ホースは右側にセットされています。左側の場合は下記手順で付け換えてください。

1. **本体の前面が下になるようにダンボールなどの上に倒す**
2. **ストッパーを奥側（洗濯機上方側）へ押し上げ、台板から外し、ホースを外す**

3. **ホースを洗濯機左側にし、ストッパーを台板の取付け穴にはめ込み、手前に引く**
   - フックがストッパーにかかっていることを確認してください。

4. **付け換え後に必ず試運転を行い、水もれや異常音が発生しないか確認する**
   - ストッパーをホースから外したり位置を変えないでください。

⚠ 注意

温水を使用する場合50℃以上のお湯は使用しない

プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の恐れがあります。

熱湯使用禁止

洗濯の前に蛇口を開いて、給水ホースの接続部分の水もれのないことを確認する

ねじなどが緩んでいると、水もれして思わぬ被害をもたらします。

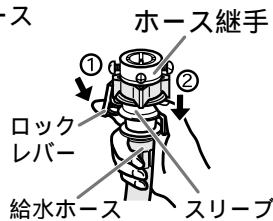
水もれ確認

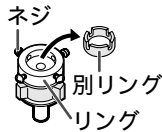
給水ホースの取り付け

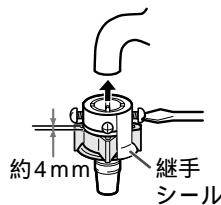
確実に取り付けないと水もれの原因になります。ワンタッチ給水栓ジョイントがすでに水栓に取り付けられている場合は、必ず別売の「給水栓ジョイント」（CB-J6 ）に交換してください。交換しないと給水ホースが外れて、思わぬ被害を招くことがあります。※給湯設備には取り付けないでください。

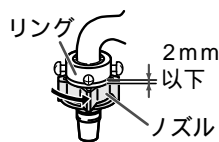
＊取付けが確実にできなかったり、水もれが発生する場合は、お買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。 P64

■ホース継手の取り付け

1 給水ホースのロックレバーを押し①そのままの状態でスリーブを引き下げて②、ホース継手からはずします。

2 水栓の直径を確認します。

●蛇口が大きいときはネジをゆるめて別リングをはずします。

3 ホース継手の4本のネジをゆるめ、水栓蛇口に押しあてます。

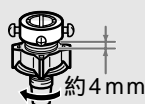
4 ネジ4本を均等に締め付けます。このときノズルとリングのすき間が約4mmであることを確認します。

●壁側になるネジ1本を前もって調整しておくと取り付けやすくなります。

5 継手シールをはがし、ノズルを矢印方向へ回して、しっかり締め付けます。

6 ノズルとリングのすき間が2mm以下になっているかを確認します。

●ノズルとリングのすき間が広いと水もれの恐れがあります。

●使用中水もれした場合は、さらに締め付けてください。

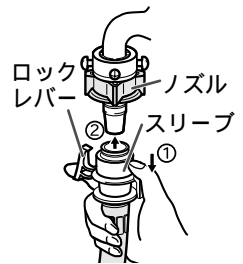
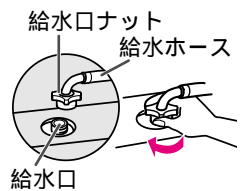
●ネジやノズルをさらに締め付けたり、付け直しても不具合なときは、ホース継手を取り換えてください。

●引っ越しなどで再び継手を取り付ける場合は、ノズルとリングのすき間が約4mmになるようにノズルをゆるめてから、上記内容に従って取り付けてください。水もれを防ぐためです。

■給水ホースのつなぎかた

1 スリーブを引き下げたまま、給水ホースを差し込みます。

2 スリーブを離し“パチン”と音がするまで押し上げます。

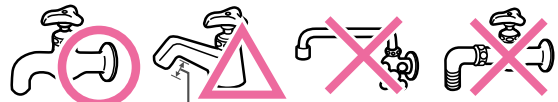
3 ロックレバーがノズルに掛かっていることと、ホースを下に引いても抜けないことを確認します。

ロックレバー　ノズル　スリーブ　②　①

4 給水ホースの先についている給水口ナットを洗濯機本体の給水口にしっかり締め付けます。

5 水栓を開き水もれがないか確認する。

●給水ホースが乾燥ユニット下方の吸気口をふさいでいないか確認してください。

●1度水を通してからホースをはずすと水が飛び散ります。 P48

●給水ホースの延長は別売の「給水延長ホース」を使用してください。 P57

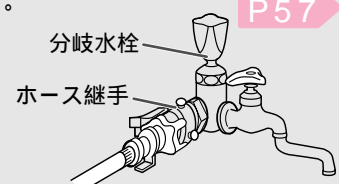
■水栓の形状

横水栓が適しています。

●自在水栓、万能ホーム水栓に取り付けの場合は別売の「給水栓ジョイント」（CB-J6）を使用してください。

●洗濯機専用水栓の設置には、別売の「分岐水栓」（JB-11）の利用をおすすめします。 P57

●水栓は洗濯終了後、必ず閉じてください。

●水栓が合わない場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

••➡（つづく）

⚠警告

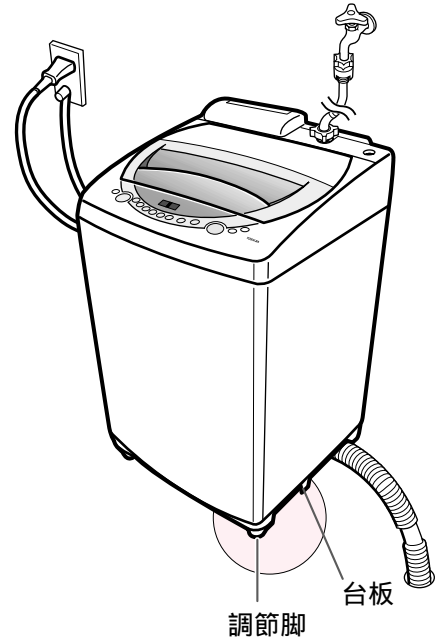
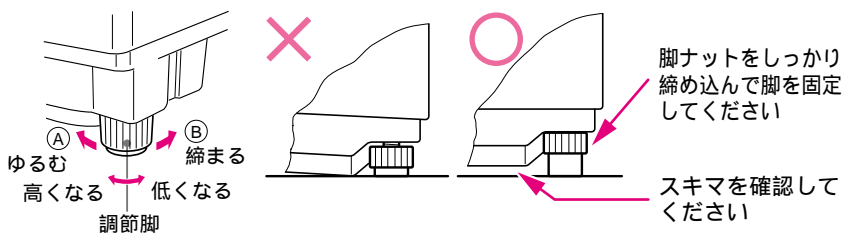
洗濯機底面から手を押し込まない

けがの恐れがあります。脚キャップの取り付けなどは側面底部をさけ、指定の方法で行ってください。

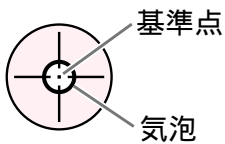
据え付けかた

脚の調節は、本体上部を支えながら行ってください。
本体底部は持たないでください。

1 ガタつかないよう脚を調節する

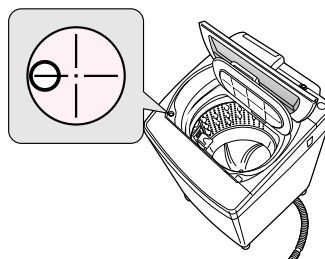
※調節した後は必ずナットをⒷに回してしっかり固定してください。また、本体前側の底部が床に当たらないように調節してください。当っていると振動や異常音の原因になります。

2 水準器の気泡の位置を確認する

●水準器の中心にある基準点が気泡の中に入っていない場合は付属の脚キャップで高さを調節してください。

※水準器は、真上から見てください。

○：調節不要です

✕：調節してください

3 水準器の気泡の位置に応じて、固定脚に脚キャップを取り付ける（調節脚も合わせて調節します）

●右側の脚に脚キャップを取り付けます（調節脚を回して高さ調節します）。
※詳しくは別添付の据付け時のお願いをごらんください。

（例）洗濯機が右側に傾いている場合

⚠警告

アース線が取り付けられているか確認する

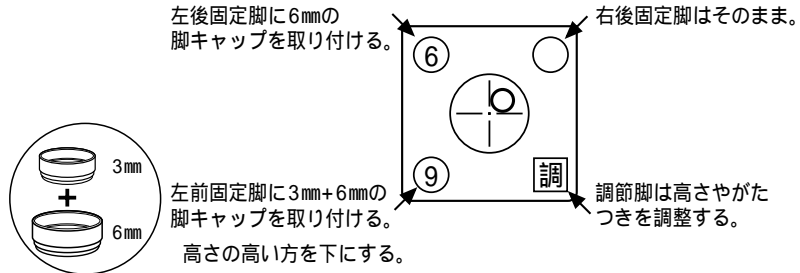
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アース線の取り付けは、電気工事店または販売店に相談してください。

アース線の接続を確認する

水準器中心の基準点が気泡に入っていない場合

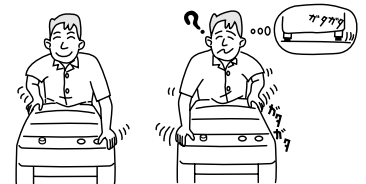
水準器の気泡の位置に応じて、固定脚に脚キャップを取り付け、調節します。
（調節脚も1の手順に従い、合わせて調節します。）

●気泡が片寄っている方向が高くなっていますので、その反対側の脚を高くするように調節してください。

■下表の見かたおよび脚キャップの取付方法

調節方法例 / 水準器の気泡の方向	※○印の中の数字に合う脚キャップを脚に取付てください。(調節脚については回して調節してください) ※下表は水準器の気泡が基準点より約1mm離れた場合のものであり、これ以上はみ出している場合はまず、板などを敷いて傾きを少なくしてから調節してください。			
1 気泡の位置が水平、垂直方向の場合（後面・前面・左・右）	脚キャップ3㎜+6㎜	脚キャップ3㎜+6㎜	脚キャップ3㎜+6㎜2個	脚キャップ3㎜+6㎜2個
2 気泡の位置が水平、垂直方向に対して斜めになっている場合（後面・前面・左・右）	脚キャップ6㎜2個	脚キャップ6㎜ 脚キャップ3㎜+6㎜	脚キャップ6㎜ 脚キャップ3㎜	脚キャップ6㎜ 脚キャップ3㎜+6㎜

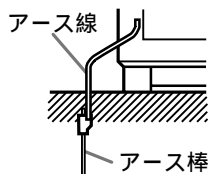
■調整後

洗濯機の対角を押え、がたつきがないか確認してください。

●水準器中心の基準点が気泡に入っていても、がたつきがあると振動が大きくなったり、異常音が出たりします。がたつきがある場合は、再調節してください。

アース線の取り付け

感電事故防止のためにアース線を取り付けてください。アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

※次のようなところにはアース線を接続しないでください。
（法令等で定められています）

- ガス管、電話線や避雷針、水道管

アース端子がないときは

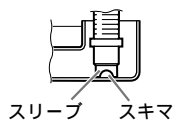
販売店・電気工事店にご依頼ください。法令により、電気工事士によるD種接地工事が必要です（費用は有料です）。

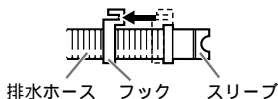
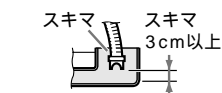
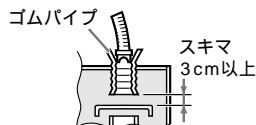
(つづく)

排水ホースの取り付け

排水ホースは洗濯機右側下部より引き出してください。
※詳しくは別添の「据え付け時のお願い」をご覧ください。
排水ホースを正しく取り付けないと、排水に時間がかかったり、途中で運転が止まったり、水もれの原因になります。
排水口の位置と排水口にゴミがたまっていないか確認してください。

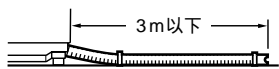
■排水ホースの取り付け

排水ホース先端のスリーブは、ホースの先にスキマをもたせるものです。はずさずにご使用ください。

■排水口への取り付け

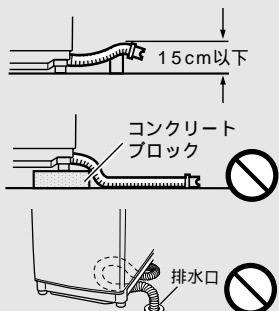
●排水ホースを排水口に差し込むときは、フックをずらします。

●ホースの先にスキマをもたせます。ホースを途中で切るときは、段部を切った後、先端にスリーブを差し込んでください。

●防水パンの場合、ゴムパイプの先にスキマをもたせてください。

■排水口が洗濯機の下にあるとき

そのまま使用するとホースに穴があき、水もれします。必ず別売の「真下排水パイプ」（THP-2　長さ0.2m、THP-3　長さ0.4m）をご使用ください。P57
「真下排水パイプ（THP-2,THP-3）」は洗濯機の左右側面または後部から使用してください。前部からは使用できません。

■排水ホースの延長

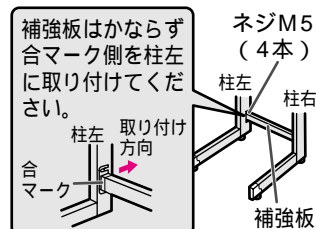
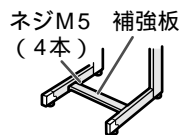
●別売の「排水延長ホース（部品コード42040679）」を使用してください。平らな場所で3mまで延長することができます。P57

●ホースは水が流れやすいようにしてください。

お願い

●敷居や排水ホースが高いと排水できないことがあります。
●ホースのこすれに注意してください。またホースを洗濯機の下に入れないでください。ホースに穴があき、水もれの恐れがあります。

衣類乾燥機とセットで使うとき

衣類乾燥機の取扱説明書に従って据え付けてください。
凍結したり、ホースがつぶれていると排水できないので、衣類乾燥機のご使用前に確認してください。
ドライヤースタンドを使用しますが、洗濯機に合わせてスタンドの幅や高さを調節します。
●直付け式のドライヤースタンドは使用できません。

■床置きのドライヤースタンドを使用するとき

補強板を必ず後側に取り付け直してください。後側に取付けられないものは台板の切り欠き部（凹部）に補強板がくるように洗濯機本体を設置してください。

■除湿乾燥機の排水ホースについて

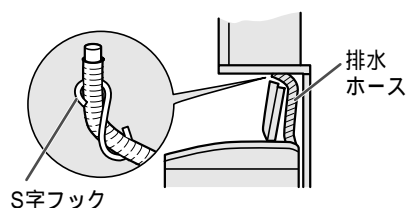
●衣類乾燥機の排水は別売の「衣類乾燥機用排水ホース（1.5m）」（部品コード39240520）を使用し防水パンや排水口に排水してください。洗濯機の排水ホースとつなげる場合はさらに別売の「排水継手」（部品コード39242718）が必要です。排水口が洗濯機の下にあるときは、別売の「真下排水パイプ（THP-2　長さ0.2m、THP-4　長さ0.4m」と「排水継手1」（部品コード42041112）が必要です。 P57

お願い

ホースが長すぎる場合は適切な長さに切り、たるまないようにしてください。

■衣類乾燥機の排水ホースが洗濯機のふたにあたるとき

別売の「乾燥機用S字フック（部品コード42018326）」を排水ホースにセットします（一部の衣類乾燥機には付属されています）。

P57

別売部品

ご購入の際は、お買いあげの販売店および東芝家電ご相談センターにご相談ください。P64

[標準価格は2002年8月現在・税別]

こんなときに	部品名		部品コード・型名	標準価格
給水ホースを延長したい 付属品の給水ホースに継ぎたして使用してください	給水延長ホース	長さ0.5m	42040662	1,500円
		長さ　1m	42040663	1,700円
		長さ　2m	42040664	2,400円
		長さ　5m	42040665	3,900円
自在水栓、万能ホーム水栓にホース継手を取り付けるときに	**給水栓ジョイント**		CB-J6	2,400円
洗濯機専用に水栓を設置したいとき	**分岐水栓**		JB-11	2,000円
ふろ水用給水ホースの長さが4mで足りないとき	**ふろ水用給水ホース フィルター付長さ7m**		42040649	1,800円
ふろ水用給水ホースを傷めてしまう恐れがあるとき	**保護スリーブ**		42040658	500円
排水ホースを延長したい	**排水延長ホース** 長さ1.2m		42040679	1,700円
排水口が洗濯機の下にあるとき	真下排水パイプ	長さ0.2m	THP-2	1,400円
		長さ0.4m	THP-3	1,400円
衣類乾燥機の排水ホースが洗濯機のふたにあたるとき	**乾燥機用S字フック**		42018326	700円
衣類乾燥機の排水ホースと洗濯機の排水ホースをつなげたいとき	**排水継手**		39242718	900円
	排水継手1 (真下排水パイプ使用時)		42041112	900円
据付場所に防水パンがないとき ＊気温が高く水温が低い場合には洗濯機に露がついて（結露）床面を濡らすことがあります。	**洗濯機トレー**		TZ-10	3,200円
毛布コースを使用するとき	**毛布洗いネット**		TMN-47	4,500円
糸くず取りネットが破れてしまったとき	糸くず取りネット	フィルター上	42044582	400円
		フィルター下	42044584	300円
ふろ水用給水ホースのフィルターが詰まってしまったとき	**ふろ水用給水ホース フィルター**		42044562	200円
洗濯・脱水槽を掃除するときに	**洗濯槽クリーナー（塩素系）**		90004003	2,000円
乾燥用フィルターが破れてしまったとき	**乾燥フィルター**		42019277	1,600円
	吸気フィルター		42019278	900円

こんなときは故障ではありません

行程	状　態	理　由
運転前	初めて使用するとき **排水ホースから水が出る**	●工場の性能テスト時の残水です。
運転前	運転がすぐにスタートしない **洗濯・脱水槽とパルセーターが動く**	●クラッチを切り換える動作です。
洗い	給水前・給水中に **パルセーターが回る**	●給水前→洗濯物量の検知をしています。 ●洗い給水中→効率よく洗剤を溶かしています。
洗い	**洗濯途中で給水する**	●濃縮パワーサインが点灯していると低い水位から水を追加しながら洗います。 ●洗濯中に水位が下がると、自動的に水が入ります。
洗い	**ブザーが鳴り、洗濯液が排水された**	●チャイルドロックが設定されていて、ふたを開けたまま運転したためです。 P32
洗い	**ふろ水利用を選んだのに水道水が給水される**	●ふろ水給水の前にふろ水ポンプへ呼び水を入れるため、水道水を約15秒～45秒給水します。
洗い	**洗濯物の量に対する水量が合っていない**	●濃縮パワー洗浄は少ない水量で水を追加しながら洗うため、はじめは水が少なくみえます。水位表示が点滅している場合は、まだ給水が終わっていません。 ●水量は洗濯物の重量で決まります。化繊などが多いと軽く、ぬれたものが入っていると重いとセンサーが判断します。合っていない場合は洗濯物の量に合わせ水位を調節してください。いつも少ないあるいは多いと感じる場合は、自動設定を微調整することが出来ます。 P47
すすぎ	最終すすぎ水に **にごりがある**	●洗剤の中のゼオライト成分が主で洗剤分ではありません。気になるときはすすぎ回数を増やすか、シャワーすすぎをためすすぎにしてください。 P47
すすぎ	**すすぎからスタートすると水が入ってこない**	●洗濯・脱水槽内に水がないときは衣類に含まれている水や洗剤分を出すために脱水から始まります。脱水後に給水します。（洗濯・脱水槽内に水があるときは排水から始まります。）
すすぎ	シャワーすすぎなのに **ためすすぎになる** 水位を変更すると **すすぎの回数が変わる**	●28Lより少ない水位ではシャワーすすぎではなく、ためすすぎになります。 ●シャワーすすぎの前の脱水で洗濯物が片寄っているとためすすぎになります。 P11
脱水	脱水したのに **よくしぼれてない**	●全自動電気洗濯機は二槽式洗濯機よりやや脱水が弱くなります。タオルケットの厚手の部分など脱水ムラになることがあります。
脱水	**脱水運転が始まらない** **電源が入らない**	●脱水中にふたをあけたり、一時停止して30分以上たってから再スタートさせたときは、排水弁が開くまで脱水運転が始まりません。また、停止後すぐにスタートさせるときは、安全のため少し休止時間があります。なお、脱水中に電源を切ると洗濯・脱水槽の回転が止まるまで電源は入りません。
脱水	脱水の途中で **突然給水したりすすぎになる** **洗濯時間が長くなる**	●洗濯物が片寄ると、安全スイッチが働き片寄りを自動修正します。ためすすぎによって衣類の片寄りをほぐしたあともう一度脱水します。また、粉石けん使用時等で排水経路が汚れたときも同様の症状になります。 ※上記修正を2回繰り返しても直らない場合は「E31」または「E32」と表示しブザーが鳴ります。 P62
脱水	**脱水中にふたを開けるとブザーが鳴る**	●安全のため、洗濯・脱水槽が止まるまでブザーが鳴り続けます。

行程	状　　態	理　　由
その他	残時間表示が**途中で変わる** 仕上がり時刻を過ぎているのに**運転が終わらない**	●表示された残り時間は目安です。所要時間は、水圧、排水状態、センサー検知によって時間が変わることがあります。
	操作パネル部分が熱を持つ	●電子部品の放熱作用によるものです。
	“コン”“カチン”と音がする **電源を入れたときや運転中に音がする**	●電源を入れたときに“コン”と音がしますが異常ではありません。 ●「洗い」または「脱水」への切り換え時、乾燥運転中に“カチン”と音がしますが故障ではありません。
	鉄さびを多く含んだ水が出る	●断水した後は、水がきれいになるのを待ってから使用してください。鉄さびを多く含んだ水で洗濯すると洗濯物が黄ばむ場合があります。白い洗濯物に鉄さびが付着したときは、市販の還元漂白剤（ハイドロハイターなど）をお使いください。色柄の場合は使用できません。
	ラジオに雑音が入る **テレビに線が入る**	●テレビやラジオから3m以上離してください。
	オートパワーオフしない	●エラー表示などがでていませんか。表示を確認してください。P62 ●ソフトキープ運転ではありませんか。P37
	洗剤が衣類や糸くずフィルターに残る	●水温が低い（10°C以下）と洗剤が溶けにくくなります。化繊など水に浮きやすい衣類やジーンズのように生地が厚く堅いものは洗濯・脱水槽の上部にあると洗剤が残りやすくなるので、下の方に入れてください。 洗剤残りが気になる場合は、すすぎ回数を増やしたり、ふろの残り湯を利用するなどしてください。P13
	排水中ゴボゴボと音がする	●水に空気が混ざり合う音です。洗濯機の排水経路から出ている音で異常ではありません。
	脱水中にファンの音がする	●乾燥用送風ファンの音です。
乾燥	**室温があがる** **床・壁などがぬれる** **（結露する）**	●換気を十分にしてください。 ※床面が結露する場合は、別売の洗濯機トレーをお使いください。P57
	乾きが悪い **（乾燥終了しても乾いていない物がある）**	●脱水時間4分以下、手絞りの場合など脱水が不十分な衣類を入れてませんか。 ●乾燥時間の設定が短くありませんか。 ●乾きやすい物と乾きにくい物が混ざってませんか。 ●衣類の量が多すぎませんか。 「乾燥」コース P36 「そのまま乾燥」コース P38 ●脱水後の衣類をほぐして入れましたか。 ●乾燥フィルター、吸気フィルターの掃除をしていますか。 ●設置場所の温度が低すぎませんか。（5°C以下） 据え付けの状況を確認してください。 ●本体背面が壁などに接していませんか。 （2cm以上離れていますか） ●閉めきった狭い場所や換気の不十分な場所に据え付けていませんか。
	乾燥運転中に本体がゆれる	●衣類をほぐして入れないと、衣類が片寄ったりからみやすくなります。 ●衣類の脱水が十分でなかったり、量が多すぎませんか。P34
	乾燥ユニット上部が熱い	●ヒーターが入っているためです。運転中や運転終了直後はさわらないでください。

お困りのときは

「パネル部の表示がおかしい」「途中で止まる」「操作ボタンを押しても動作しない」ときは、外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けている場合があります。電源プラグを抜き、再び差し込んで動作を確認してください。

⚠警告

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり修理しない

●火災、感電、けがの原因となります。
●修理は、お買いあげの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

こんなときは	調べるところ
運転しない	●停電していませんか。 ●ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグはきちんと差し込まれていますか。 ●電源は「入」を押しましたか。 ●スタート/一時停止ボタンは押しましたか。 ●予約中ではありませんか。 P21
水もれ	●水栓の形状は適していますか。 ●ホース継手のネジやノズルがゆるんでいませんか。 ●給水口ナットが傾いていたり、締付がゆるんでいませんか。 ●給水口にゴミがつまっていませんか。 ●付属品と異なるホース継手を使用していませんか。 ●排水ホースがはずれたり、破れていませんか。 ●排水ホースは正しく付け換えられていますか。 点検してください 給水口ナット P53 継ぎ手 P53 排水ホースはずれ P56
異常音が出る 振動が大きい	●洗濯機が傾いていたりガタついていませんか。台板が床に当たっていませんか。 据え付けが不安定だと脱水の振動や音が大きくなります。 P54 ●排水ホースは正しく処理されていますか。 長すぎる場合は段部を切り、先端にスリーブを付け直して使用してください。 P56 ●排水ホースのストッパーを台板から外して使用していませんか。 P52 ●排水ホースを真下排水パイプを使用せずに、直接排水口にいれていませんか。 ●内ふたは確実に閉まっていますか。 ●マッチ棒、ヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか。 ●電源コードやアース線、給水ホースが洗濯機に当っていませんか。乾燥フィルターは確実に取り付けられていますか。脱水の振動で音が大きくなります。 ●洗濯物が片寄っていませんか。洗濯物が片寄っていると、洗濯・脱水槽が外箱に当たったり、脱水や乾燥のときの振動が大きくなります。
柔軟仕上剤が流れ出てしまう	●柔軟仕上剤投入ケースのキャップのつばの上まで柔軟仕上剤を入れていませんか。入れすぎると洗濯の途中で流れ出てしまいます。
ふろ水が減っていない ふろ水を給水しない	●浴槽の中に残り湯はありますか。 ●ふろ水ボタンを押して、ふろ水利用の設定をしましたか。 ●ふろ水用給水継手はふろ水給水口に確実に差し込まれていますか。 P30 ●ふろ水用給水ホースがつぶれていたり、穴が開いていませんか。 ●ふろ水用給水ホースフィルターの先端が水より浮いていませんか。 ふろ水用給水ホースフィルターの目詰りを点検し、確実に沈めてください。 P48 ●ホースがたるんでいたり、ホースの最高点までの高さが1.5m以上ありませんか。 1.5m以下 できるだけたるませない
ふろ水用給水ホースが縮む	●ふろ水用給水ホースフィルターの目詰りを点検してください。 P48

こんなときは	調べるところ
洗濯物に汚れが付着した	●粉石けんや液体石けんを使用していませんか。P44 粉石けんや液体石けんは、洗濯・脱水槽に汚れが蓄積しやすく、洗濯中に洗濯物を汚すことがあります。 ●のりづけ後に洗濯・脱水槽を洗っていますか。P44 洗濯・脱水槽を洗わないとのりが付着したままになり、それがはがれて洗濯中に洗濯物を汚すことがあります。 ※以上のようなときは「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を掃除してください。P51
コースボタンを押しても「標準」コースのまま	●濃縮パワーサインが消灯になっていませんか。 このときの「標準」コースは、洗いの始めに設定水位まで給水します。1度運転すると記憶されて、次回から電源を入れると「標準」（濃縮パワーサイン消灯）になります。
濃縮パワーサインが点灯していない	●「ドライ」「毛布」「槽洗浄」コースは濃縮パワー洗浄を行いません。 ●「標準」コースの場合はコースボタンを押して一巡させてください。P63
乾燥後の衣類のシワがひどい	●乾燥量を多めに運転していませんか。 ●乾燥運転のとき、脱水の衣類をほぐし、シワをのばして入れましたか。
衣類の静電気が気になる	●洗濯時に柔軟仕上剤を使用してください。静電気を抑えることができます。
衣類が黄変する	●水道水のサビ、粉石けんや洗剤の残り、色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。塩素系漂白剤や還元型漂白剤をご使用ください。

※点検しても直らない場合はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。 P64

表示部にこんな表示が出たら

表示	調べるところ	
E 1	**排水ホースに次のような異常がありませんか？** ●排水ホースは正しく取り付けてありますか。 ●排水ホースを倒してありますか。 ●凍結していませんか。 ●排水ホースがつぶれていませんか。 ●排水ホースの先端のスリーブが水につかっていませんか。 ●砂やどろ、糸くずなどがつまっていませんか。	**●点検後ふたを一回開閉し、スタートボタンを押してください**
E 2	●ふたが開いていませんか。	**●ふたを閉めてください。**
E 31	●洗濯物が片寄っていませんか。 ●洗濯機がガタついたり、傾いた床面に置いていませんか。	**●洗濯物の片寄り、洗濯機のガタつきを直したあとふたを閉めてください。**
E 32	● E 1 と同じ症状がありませんか。→ E 1 へ ● E 31 と同じ症状がありませんか。→ E 31 へ	
E 5	●水栓が閉じていませんか。 ●水道が凍結したり断水していませんか。 ●給水口の網にごみがたまっていませんか。 （極端に水道水圧が低い（毎分約3L以下）場合、「E5」表示が出ます） ●ふろ水用給水ホースの先端が浮いていたり、ふろ水がなくなっていませんか。	**●点検後ふたを一回開閉し、スタートボタンを押してください。（ふろ水は水道水に切り換わります。）**
E P	●ポンプが凍結していませんか。 （凍結していない場合は修理を依頼してください）	**●電源を入れ直し、水道水給水で行ってください。**
E c1 E c3 E c5 E c6	●洗濯物を入れすぎていませんか。 ●洗濯物の量に対して水位が低く設定されていませんか。	**●電源を入れ直し、洗濯物を減らしたり、水位を設定し直して、再度スタートボタンを押してください。**
A P33 **「A」を表示しています**	●乾燥運転するのに洗濯・脱水槽内に水が入っていませんか。	**●電源を入れ直し、排水・脱水を行ってから乾燥運転を行ってください。**

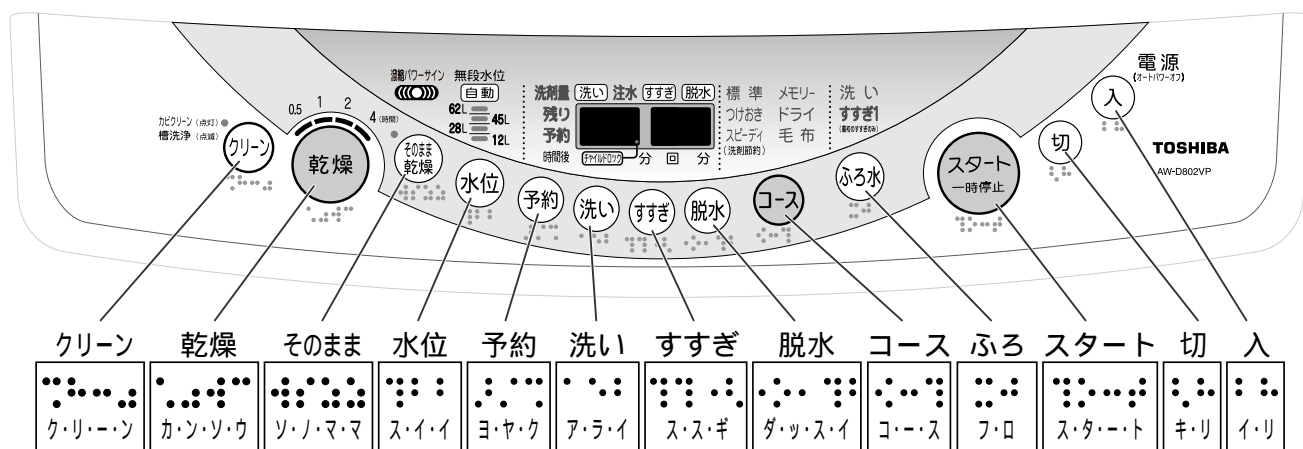
※上記以外の表示や点検しても直らない場合は、電源プラグを抜き修理を依頼してください。 P64

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院、また、寮や病院など一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合や薬品が付着した衣類を乾燥する場合には、短時間で部品の交換が必要になることがあります。
この場合は保証期間の対象になりませんので、原則として有料修理となります。
お買上げの販売店にご相談の上、定期的な点検を受けてお使いになることをおすすめします。

点字および操作音について

■点字

●操作ボタンには点字を付記しています。一部省略文字になっています。
●カタカナで記載しているのが点字内容です。

■操作音

ボタンを押すとブザーが「ピッ」と鳴ります。

●一回押すごとにブザーが「ピッ」と鳴り、設定が順送りされます。
●起点に戻ると「ピー」と長めの音になります。

各ボタンの起点は次のようになります。

ボタン	水位	予約 洗い すすぎ 脱水 そのまま乾燥	クリーン	乾燥	コース	ふろ水
起　点	一番上の水位	設定なしの状態（つけおきコースのすすぎはすすぎ2回設定の状態）	カビクリーン（点灯時）	0.5時間	標準（濃縮パワー点灯時）	設定なしの状態

仕様

本　体 （ ）内はAW-D702VPの場合

種類	ヒーター乾燥付全自動電気洗濯機	標準洗濯容量	8.0（7.0）kg（乾燥時の布の質量）
電源	AC100V　50Hz／60Hz共用	標準脱水容量	8.0（7.0）kg（乾燥時の布の質量）
電動機の消費電力	洗濯時　520W（515W）	標準乾燥容量	2.0kg（乾燥時の布の質量）
電熱装置の消費電力	乾燥時　415W　50Hz 440W　60Hz	標準水量	高水位62L（60L）
		標準使用水量	125L（120L）
乾燥時の消費電力	570W 50Hz／640W 60Hz	水道水圧	0.03～1MPa（0.3～10kgf/cm²）
外形寸法	幅600mm×奥行605mm×高さ975mm	洗濯方式	うず巻式
製品の質量	44kg	乾燥方式	排気式

ポンプ（本体に内蔵）

電源	AC　100V　50Hz－60Hz共用	揚水量	12L／分 （実揚程1m、ホース4mのとき）
消費電力	40W		

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買いあげの販売店にご相談ください。**

ご転居あるいはご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合	新製品などの商品選び、お取り扱い・お手入れなどのご相談
東芝家電修理ご相談センター	**東芝家電ご相談センター**
フリーダイヤル **0120-1048-41**	フリーダイヤル **0120-1048-86** 携帯電話・ＰＨＳからのご利用は **03-3426-1048** FAX **03-3425-2101**（365日・8：00〜20：00受付）

電話受付：365日・24時間受付

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書（別添）

- この東芝ヒーター乾燥付全自動電気洗濯機には、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買いあげしていただいてから1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- ヒーター乾燥付全自動電気洗濯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

58〜62ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

保証期間経過後の修理については、お買いあげの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	ヒーター乾燥付全自動電気洗濯機
形名	AW-D802VP／AW-D702VP
お買いあげ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL.

廃棄時のお願い

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

★ 長年ご使用の洗濯機の点検を！

このような症状はありませんか。

- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水もれする（ホース、水槽、ホース継手）。
- こげくさい臭いがしたり､運転中に異常な音や振動がある。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 据付けが傾いたりグラグラしている。
- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

株式会社 **東芝** 家電機器社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1（東芝ビルディング）

A1816